

令和6年度

決算説明資料

中 頓 別 町

目次

歳入

地方譲与税	1
利子割交付金	1
配当割交付金	1
株式等譲渡所得割交付金	2
法人事業税交付金	2
地方消費税交付金	2
自動車税環境性能割交付金	2
国有提供施設等所在市町村助成交付金	3
地方特例交付金	3
地方交付税	3
分担金及び負担金	4
使用料及び手数料	4
国庫支出金	7
道支出金	11
財産収入	16
寄附金	18
繰入金	19
繰越金	21
諸収入	21
町債	24

歳出

議会費	26
総務費	27
民生費	38
衛生費	45
労働費	49
農林水産業費	49
商工費	57
土木費	60
消防費	62
教育費	65

特別会計	71
------	----

※事業名右側（ ）内の数字は予算現額

【 歳入 】

地方譲与税

〈地方揮発油譲与税〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

地方揮発油譲与税 **決算額 13,675千円(13,800千円)**

地方揮発油税(国税)の一部を市町村道の延長及び面積に按分して譲与されました。

〈自動車重量譲与税〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

自動車重量譲与税 **決算額 41,854千円(41,500千円)**

自動車重量税(国税)の一部を市町村道の延長及び面積に按分して譲与されました。

〈森林環境譲与税〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

森林環境譲与税 **決算額 21,508千円(21,922千円)**

間伐等の「森林の整備に関する施策」や人材育成・担い手の確保等の「森林の整備の促進に関する施策」の財源として、私有林人工林面積、林業就業者数及び人口により按分して譲与されました。

利子割交付金

〈利子割交付金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

利子割交付金 **決算額 91千円(100千円)**

金融機関等からの利子に課税された一部を財源として、個人道民税の額に応じて交付されました。

配当割交付金

〈配当割交付金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

配当割交付金 **決算額 875千円(500千円)**

上場株式等の配当に課税された一部を財源として、個人道民税の額に応じて交付されまし

た。

株式等譲渡所得割交付金

〈株式等譲渡所得割交付金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

株式等譲渡所得割交付金

決算額 1, 353千円(400千円)

株式等の譲渡所得に課税された一部を財源として、個人道民税の額に応じて交付されました。

法人事業税交付金

〈法人事業税交付金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

法人事業税交付金

決算額 4, 429千円(4, 592千円)

法人事業税の一部を財源として、市町村の従業員数に応じて交付されました。

地方消費税交付金

〈地方消費税交付金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

地方消費税交付金

決算額 46, 856千円(43, 900千円)

地方消費税の一部を財源として、人口及び従業員数に按分して交付されました。

自動車税環境性能割交付金

〈自動車税環境性能割交付金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

自動車税環境性能割交付金

決算額 6, 415千円(5, 000千円)

自動車税環境性能割の一部を財源として、市町村道の延長や面積に按分して交付されました。

国有提供施設等所在市町村助成交付金

〈国有提供施設等所在市町村助成交付金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

国有提供施設等所在市町村助成交付金 **決算額 300千円(300千円)**

国が所有する固定資産のうち、アメリカ軍や自衛隊の基地施設に供する固定資産について交付されました。

地方特例交付金

〈地方特例交付金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

地方特例交付金 **決算額 6,313千円(6,313千円)**

個人住民税における住宅借入金等特別税額控除の実施に伴う減収の補填として交付されました。令和6年度は定額減税での地方税に減収が生じるため、その補填が措置されています。

地方交付税

〈普通交付税〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

普通交付税 **決算額 2,050,675千円(2,050,675千円)**

基準財政需要額から基準財政収入額を差し引き、財源不足が生じたため、財源不足額に応じて交付されました。令和6年度は定額減税での地方税収に減収が生じるため、その補填が措置されています。

〈特別交付税〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

特別交付税 **決算額 232,105千円(261,548千円)**

普通交付税で捕捉されない災害等の特別な財政需要に対して交付されました。

分担金及び負担金

〈民生費負担金〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

老人福祉施設入所費負担金 **決算額** 16,242千円(16,514千円)

老人福祉法第28条の規定に基づき、老人福祉施設入所に要した費用について、町が支弁した者又はその家族から負担能力に応じてその費用の全額又は一部を徴収しました。

使用料及び手数料

〈総務使用料〉

(担当：建設課建設グループ)

地域づくり活動支援センター使用料 **決算額** 15千円(15千円)

地域づくり活動支援センターの使用料として徴収しました。

コミュニティ施設使用料 **決算額** 25千円(18千円)

コミュニティ施設の使用料として徴収しました。

〈衛生使用料〉

(担当：総務課住民グループ・保健福祉課保健グループ)

火葬場使用料 **決算額** 495千円(495千円)

火葬場の使用料として徴収しました。

・使用件数 町内：15件×25千円、町外：4件×30千円

墓地使用料 **決算額** 30千円(30千円)

墓地の使用料として徴収しました。3件×10千円

歯科診療所使用料 **決算額** 18,967千円(14,955千円)

歯科診療所の使用料として徴収しました。

〈農業使用料〉

(担当：産業課産業グループ)

町営牧場使用料 **決算額** 2,161千円(2,161千円)

町営牧場の使用料として徴収しました。

〈土木使用料〉

(担当：建設課建設グループ)

道路使用料 **決算額** 1,124千円(1,122千円)

道路の占用料として徴収しました。

・電柱道路占用使用料	667千円
・電話柱道路占用使用料	457千円
公営住宅使用料	決算額 32,028千円(31,372千円)
公営住宅の使用料として徴収しました。	
公営住宅車庫使用料	決算額 1,987千円(2,046千円)
公営住宅車庫の使用料として徴収しました。	
・あかね団地公営住宅車庫	1,896千円
・新小頓別団地公営住宅車庫	91千円
公営住宅使用料滞納繰越分	決算額 164千円(1千円)
公営住宅の使用料として徴収するもので、前年度までに徴収できなかった使用料を徴収しました。	
独身者住宅使用料	決算額 5,984千円(6,164千円)
独身者住宅の使用料として徴収しました。	
・メモリアルハイツA	4,770千円
・メモリアルハイツB	1,214千円
特定公共住宅使用料	決算額 6,591千円(7,689千円)
特定公共住宅の使用料として徴収しました。	
・敏音知特定公共賃貸住宅	380千円
・旭台特定公共賃貸住宅	2,277千円
・あかね団地特定公共賃貸住宅	3,934千円
特定公共車庫使用料	決算額 600千円(700千円)
特定公共住宅車庫の使用料として徴収しました。	
・旭台特定公共賃貸住宅車庫	234千円
・あかね団地特定公共賃貸住宅車庫	366千円
定住促進住宅使用料	決算額 2,315千円(2,400千円)
定住促進住宅の使用料として徴収しました。	
・旧長寿園職員住宅	1,848千円
・旧町職員住宅	467千円
おためし暮らし住宅使用料	決算額 193千円(240千円)
おためし暮らし住宅の使用料として徴収しました。	
河川使用料	決算額 72千円(69千円)
河川の占用料として徴収しました。	
河川使用料滞納繰越分	決算額 4千円(0千円)
河川敷地の使用料として徴収するもので、前年度までに徴収できなかった使用料を徴収しました。	

＜教育使用料＞

(担当：教育委員会教育グループ)

学校体育館使用料

決算額 48千円(40千円)

学校体育館の使用料として徴収しました。

町体育館使用料

決算額 134千円(130千円)

町体育館の使用料として徴収しました。

柔剣道場使用料

決算額 14千円(2千円)

柔剣道場の使用料として徴収しました。

町民センター使用料

決算額 98千円(80千円)

町民センターの使用料として徴収しました。

郷土資料館入館料

決算額 21千円(11千円)

郷土資料館の入館料として徴収しました。

小頓別多目的集会施設使用料

決算額 89千円(15千円)

小頓別多目的集会施設の使用料として徴収しました。

山村水泳プール使用料

決算額 11千円(15千円)

山村水泳プールの使用料として徴収しました。

創作活動施設使用料

決算額 0千円(1千円)

山村水泳プールの使用料として徴収するものです。令和6年度は実績がありませんでした。

そうや自然学校使用料

決算額 250千円(250千円)

そうや自然学校の施設使用料として徴収しました。

＜総務手数料＞

(担当：総務課住民グループ・建設課建設グループ)

戸籍手数料

決算額 351千円(378千円)

戸籍関連の証明発行手数料として徴収しました。

住民登録手数料

決算額 258千円(199千円)

住民登録関連の証明発行手数料として徴収しました。

証明手数料

決算額 249千円(197千円)

所得証明関連等の証明発行手数料として徴収しました。

臨時運行許可手数料

決算額 5千円(2千円)

自動車臨時運行の許可証明発行手数料として徴収しました。

閲覧手数料

決算額 0千円(1千円)

住民票の閲覧手数料として徴収するものです。令和6年度は実績がありませんでした。

地籍成果簿閲覧手数料

決算額 116千円(100千円)

中頓別管内の地籍に関する成果の閲覧や複写に係る手数料として徴収しました。

屋外広告物設置許可手数料

決算額 25千円(27千円)

法令に基づき設置許可を受けた屋外広告物に係る手数料として徴収しました。

- ・更新分 1件×14,200円、1件×3,900円

＜衛生手数料＞

(担当：総務課住民グループ・保健福祉課保健グループ)

犬登録手数料

決算額 4千円(3千円)

町内で飼育する犬の登録手数料として徴収しました。

- ・新規1件×3千円、再登録1件×1,600円

狂犬病予防接種済票交付手数料

決算額 28千円(28千円)

狂犬病予防接種終了後に交付する狂犬病予防接種済票の交付手数料として徴収しました。

- ・51頭分×550円

一般廃棄物処理手数料

決算額 3,604千円(3,603千円)

町内で使用する指定ごみ袋の販売手数料として徴収しました。

(担当：総務課住民グループ・保健福祉課保健グループ)

歯科診療所事務取扱手数料

決算額 52千円(10千円)

マイナ保険証利用促進のための利用勧奨の取り組みにかかる手数料として交付されました。

＜農業手数料＞

(担当：農業委員会事務局・産業課産業グループ)

現地目証明手数料

決算額 3千円(3千円)

土地の現況を証明するための発行手数料として徴収しました。

町営牧場捕獲手数料

決算額 328千円(328千円)

町営牧場の入牧牛の管理に要する手数料として徴収しました。

- ・一般育成牛 29千円
- ・授精対象牛 299千円

有害鳥獣処理手数料

決算額 88千円(76千円)

交通事故等によって、有害鳥獣等処理施設に搬入されたエゾシカの処理手数料として徴収しました。

国庫支出金

＜民生費国庫負担金＞

(担当：保健福祉課福祉グループ)

児童手当国庫負担金

決算額 10,925千円(13,397千円)

18歳までの児童を持つ家庭に支給される児童手当に対して交付されました。

国民健康保険基盤安定国庫負担金

決算額 1,603千円(1,805千円)

市町村が行う国民健康保険の保険税軽減を図り、財政の安定化を目的として交付されまし

た。

障害者自立支援給付費国庫負担金

決算額 60,973千円(55,816千円)

市町村が負担する障害福祉サービス費等に対して交付されました。

- ・障害者自立支援給付費負担金 60,463千円
- ・障害者医療費負担金 510千円

未熟児医療費等国庫負担金

決算額 175千円(500千円)

低体重や早産等で身体の発育が未熟なまま生まれたために入院養育が必要な乳児に対する医療費の補助に対して交付されました。

障害児入所給付費国庫負担金

決算額 312千円(180千円)

市町村が負担する障害児入所施設等における児童等の入所後又は委託後の保護に必要な経費等に対して交付されました。

低所得者保険料軽減負担金

決算額 1,630千円(2,137千円)

介護保険の1号保険料について、所得が低い層(第1～3段階保険者)に対する保険料を軽減し、その軽減分に対して2分の1相当額が交付されました。

〈総務費国庫補助金〉

(担当：総務課住民グループ・政策経営課政策経営グループ)

デジタル田園都市国家構想交付金

決算額 15,783千円(16,097千円)

地方の社会的課題解決、魅力向上の取組みを加速化・深化する観点から、地域再生計画や地方版総合戦略を策定し、地方創生のための実施計画を定め、これに基づいて実施する「中頓別町版コモンズ形成事業」と、デジタル技術を活用した技術を導入する事業(デマンドバス予約アプリ、図書システム、住民向けアプリ)に対して交付されました。

- ・地方創生推進タイプ 11,152千円
- ・デジタル実装タイプ 4,631千円

年金生活者支援給付金支給業務市町村事務取扱交付金

決算額 30千円(14千円)

年金生活者に対する支援業務に対して交付されました。

デジタル基盤改革支援補助金 決算額 31,500千円(94,092千円)

※()のうち、61,613千円は令和7年度への繰越明許費です。

標準準拠システムに移行するために対して交付されたものです。

中間サーバー・プラットフォーム運営交付金

決算額 2,619千円(2,619千円)

庁舎内関連システムと中間サーバーの更改に要する経費に対し、補助を受けたものです。

社会保障・税番号制度システム事業費補助金

決算額 4,753千円(1,562千円)

※うち、2,986千円は令和5年度からの繰越明許費です。

戸籍関連システム、マイナンバーカード作成支援機種等に要する経費に対して補助を受けたものです。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

決算額 27,369千円(37,537千円)

※()のうち、10,211千円は、令和7年度への繰越明許費です。

物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の負担軽減を図る事業に対して交付されました。

個人番号カード交付事務費補助金 決算額 6,182千円(8,026千円)

※うち、6,182千円は令和5年度からの繰越明許費です。

マイナンバーカード交付事務として、タブレット端末の通信費に要する経費に対して交付されました。

〈民生費国庫補助金〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

子ども・子育て支援交付金 決算額 10,664千円(12,022千円)

利用者支援事業、放課後児童健全育成事業、一時預かり事業等に対して交付されました。

地域生活支援事業費国庫補助金 決算額 273千円(651千円)

市町村が実施する成年後見制度利用支援事業や日常生活用具給付等事業等に対して交付されました。

子ども・子育て支援費補助金 決算額 1,429千円(1,429千円)

利用者支援事業、放課後児童健全育成事業、一時預かり事業等に対して交付されました。

〈衛生費国庫補助金〉

(担当：保健福祉課保健グループ)

保健衛生費補助金 決算額 399千円(531千円)

市町村が実施する感染症対策、地域保健医療推進対策等の事業に対して医療の確保と健康づくりを推進することを目的として交付されました。

- | | |
|-----------------|-------|
| ・ 感染症予防事業費国庫補助金 | 0千円 |
| ・ 疾病予防対策事業費等補助金 | 27千円 |
| ・ 母子衛生費国庫補助金 | 372千円 |

出産・子育て応援交付金 決算額 333千円(1,522千円)

※()のうち、1,188千円は令和7年度への繰越明許費です。

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるように妊娠期から出産・子育てまで一貫した支援を目的として、助産師・保健師が相談支援等を行う伴走型相談支援に係る人件費等の経費や、妊娠の届出や出生の届出を行った妊婦・子育て世帯等に対して行う出産育

児関連用品の購入費助成に対して交付されました。

＜労働費国庫補助金＞

(担当：産業課商工労働・観光まちづくりグループ)

特定地域づくり事業推進補助金 **決算額 2,346千円(3,052千円)**

特定地域づくり事業協同組合の事業費のうち、対象となる事業費に対して4分の1を限度として交付されました。

＜土木費国庫補助金＞

(担当：建設課建設グループ)

道路橋梁費補助金 **決算額 231,646千円(125,179千円)**

※うち、116,142千円は、令和5年度からの繰越明許費です。

※()のうち、2,867千円は、令和7年度への繰越明許費です。

社会資本整備総合交付金(道路事業)及び道路メンテナンス事業補助金(橋梁長寿命化事業)として交付されました。

・秋田原野線交付金工事補助金	48,419千円
・雪寒機械更新事業補助金	13,600千円
・除雪事業補助金	28,768千円
・中頓別弥生線交付金事業補助金	13,005千円
・道路長寿命化事業補助金	4,214千円
・橋梁長寿命化事業補助金	7,498千円

公営住宅建設事業等補助金 **決算額 16,529千円(16,529千円)**

社会資本整備総合交付金(営繕事業)として交付されました。

・空き家再生推進事業(危険廃屋解体助成)	1,875千円
・公営住宅等ストック事業(ひまわり団地外部改修設計)	1,800千円
・既設公営住宅等の除去(あかね団地解体工事)	5,461千円
・公営住宅等ストック事業(西団地外壁改修工事)	7,393千円

＜教育費国庫補助金＞

(担当：教育委員会教育グループ)

へき地児童生徒援助費補助金 **決算額 22千円(30千円)**

小学1年生及び4年生並びに中学1年生の児童生徒を対象として行う心電図検査に対して交付されました。

特別支援教育就学費補助金 **決算額 18千円(25千円)**

小学1年生及び4年生並びに中学1年生の児童生徒を対象として行う心電図検査に対して交付されました。

公立学校情報機器整備費補助金 **決算額 208千円(208千円)**

小中学校において情報機器を活用するための支援体制の整備に対して交付されました。

学校施設環境改善交付金 **決算額 0千円(3,109千円)**

※()は、令和7年度への繰越明許費です。

小学校、中学校の学校統合に伴う校舎の改修に要する経費に対して交付されるものです。

〈総務費委託金〉

(担当：総務課総務グループ・総務課住民グループ)

外国人登録事務委託金 **決算額 151千円(160千円)**

外国人に対する住民登録手続きに要する経費として交付されました。

自衛官募集事務委託金 **決算額 18千円(18千円)**

自衛官募集に要する経費として交付されました。

衆議院議員選挙委託金 **決算額 6,704千円(6,716千円)**

令和6年10月27日執行の第50回衆議院議員総選挙、第26回最高裁判所裁判官国民審査に係る経費として交付を受けました。

〈民生費委託金〉

(担当：総務課住民グループ・保健福祉課福祉グループ)

国民年金事務委託金 **決算額 495千円(630千円)**

国民年金事務である加入・変更・死亡の届出等に要する経費として交付されました。

児童福祉委託金 **決算額 8千円(5千円)**

特別児童扶養手当事務を執行するための経費として交付されました。

道支出金

〈総務費道負担金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

土地利用対策事業道負担金 **決算額 22千円(22千円)**

国土利用計画法の規定による土地取引の届出や遊休土地の利用促進、監視区域の調査に関する事務事業に対して、適正な執行を図ることを目的として交付されました。

〈民生費道負担金〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

児童手当道負担金 **決算額 2,005千円(2,878千円)**

18歳までの児童を持つ家庭に支給される児童手当に対して交付されました。

社会福祉費道負担金 **決算額 1,011千円(967千円)**

民生委員等関係経費負担金取扱要綱に基づき、民生委員の活動に対して交付されました。

- ・ 民生委員活動費負担金 782千円
- ・ 民生委員協議会活動推進費負担金 229千円

国民健康保険基盤安定道負担金 **決算額 4,854千円(4,633千円)**

市町村が行う国民健康保険の保険料軽減を図り、財政の安定化を目的として交付されました。

障害者自立支援給付費道負担金 **決算額 27,954千円(27,908千円)**

市町村が負担する障害福祉サービス費等に対して交付されました。

- ・ 障害者自立支援給付費負担金 27,503千円
- ・ 障害者医療費負担金 451千円

後期高齢者医療保険基盤安定道負担金

決算額 7,290千円(8,137千円)

後期高齢者医療保険の保険料軽減を図り、財政の安定化を目的として交付されました。

未熟児医療費等道負担金 **決算額 0千円(250千円)**

低体重や早産等で身体の発育が未熟なまま生まれたために入院養育が必要な乳児に対する医療費の補助に対して交付されるものです。令和6年度は実績がありませんでした。

障害児入所給付費道負担金 **決算額 107千円(90千円)**

市町村が負担する障害児入所施設等における児童等の入所後又は委託後の保護に必要な経費等に対して交付されました。

低所得者保険料軽減負担金 **決算額 833千円(1,068千円)**

介護保険の1号保険料について、所得が低い層（第1～3段階保険者）に対する保険料を軽減し、その軽減分に対して4分の1相当額が交付されました。

<総務費補助金>

(担当：総務課総務グループ・政策経営課政策経営グループ)

深地層研究施設周辺地域特別対策事業補助金

決算額 9,904千円(9,904千円)

電源開発事業の理解促進及び電気の大量消費地域が受ける利益を電気の製造地域に還元することを目的として、発電用施設等の周辺地域での公共用施設の整備や住民福祉の向上に資する事業に対して交付されました。

地域づくり総合交付金 **決算額 1,000千円(1,000千円)**

地域の創意と主体性に基づく地域の特性や優位性を生かした取り組みの促進を図るため、地域課題の解決や地域活性化を目的として取り組む事業に対して交付されました。

- ・ 防災対策事業 1,000千円

〈民生費補助金〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

老人クラブ運営費補助金

決算額 212千円(212千円)

北海道老人クラブ活動推進事業実施要綱に基づき、老人クラブ連合会が行っている活動に対して交付されました。

ひとり親家庭及び重度心身障害者補助金

決算額 2,063千円(3,027千円)

北海道医療給付事業補助金要綱に基づき、重度心身障害者及びひとり親家庭の医療費の補助に対して交付されました。

- ・ 重度心身障害者医療給付費事業補助金 1,950千円
- ・ 重度心身障害者医療事務費補助金 69千円
- ・ ひとり親家庭等医療事務費補助金 44千円

乳幼児医療補助金

決算額 493千円(1,505千円)

北海道医療給付事業補助金要綱に基づき、乳幼児の医療費及び就学児の一部の医療費の補助に対して交付されました。

地域生活支援事業費道補助金

決算額 144千円(325千円)

市町村が実施する成年後見制度利用支援事業や日常生活用具給付等事業等に対して交付されました。

子ども・子育て支援交付金

決算額 6,195千円(6,105千円)

利用者支援事業、放課後児童健全育成事業、一時預かり事業等に対して交付されました。

妊産婦安心出産支援事業費補助金

決算額 44千円(153千円)

分娩可能な参加医療機関までの距離が遠く、健康診査や出産に係る交通費の助成に対して交付されました。

多子世帯の保育料軽減支援事業費補助金

決算額 661千円(814千円)

保育所を利用する第2子以降の3歳未満の保育料無償化事業に対して交付されました。

地域自殺対策緊急強化推進事業補助金

決算額 447千円(805千円)

地域自殺対策強化交付金要綱に基づき、自殺対策を主たる目的として対面や電話等の相談支援体制の拡充等に対して交付されました。

〈衛生費補助金〉

(担当：保健福祉課保健グループ・保健福祉課福祉グループ)

健康増進事業補助金

決算額 489千円(586千円)

市町村が行う各種健(検)診事業や健康教育事業等、健康増進を目的として行っている事業に対して交付されました。

出産・子育て応援交付金

決算額 75千円(166千円)

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるように妊娠期から出産・子育てまで一貫した支援を目的として、助産師・保健師が相談支援等を行う伴走型相談支援に係る人

件費等の経費や、妊娠の届出や出生の届出を行った妊婦・子育て世帯等に対して行う出産育児関連用品の購入費助成に対して交付されました。

在宅医療提供体制強化事業補助金 決算額 1,500千円(1,500千円)

国保病院での訪問看護事業を実施し在宅医療の充実と推進することを目的として交付されました。

<農林業費補助金>

(担当：農業委員会事務局・産業課産業グループ)

農業委員会補助金 決算額 2,616千円(2,616千円)

農業委員会促進事業及び機構集積支援事業に対して交付されました。

- ・農業委員会交付金事業 2,108千円
- ・機構集積支援事業交付金 109千円
- ・農地利用最適化交付金 399千円

造林事業補助金 決算額 6,196千円(6,171千円)

町有林の間伐・下刈り・造林事業を実施する森林環境保全直接支援事業に対して交付されました。

- ・町有林除間伐事業補助金 2,393千円
- ・町有林下刈事業補助金 2,282千円
- ・町有林造林事業補助金 1,521千円

森林保護事業補助金 決算額 157千円(156千円)

野ネズミ駆除剤散布を実施する森林保護事業に対して交付されました。

林道開設事業補助金 決算額 28,378千円(29,070千円)

林道等整備工事事業に対して交付されました。

- ・幹線林道弥生線改良事業補助金 28,378千円

農業経営基盤強化資金利子補給事業補助金 決算額 4千円(4千円)

認定農業者支援事業における、農業経営基盤強化資金利子助成事業に対して交付されました。

畜産経営維持緊急支援資金利子補給補助金 決算額 60千円(60千円)

各種制度資金利子補給事業のうち、畜産経営維持緊急支援資金利子補給事業に対して交付されました。

中山間地域等直接支払交付金 決算額 29,284千円(29,284千円)

中山間地域等直接支払交付金事業に対して交付されました。

中山間地域等直接支払推進交付金 決算額 31千円(62千円)

中山間地域等直接支払交付金事業を円滑に推進することを目的として交付されました。

ふるさとの山づくり総合対策事業補助金

決算額 3,006千円(3,006千円)

民有林の造林事業の支援を行う豊かな森づくり推進事業に対して交付されました。

大家畜特別支援資金利子補給事業補助金 **決算額 91千円(91千円)**

各種制度資金利子補給事業のうち、大家畜特別支援資金利子補給事業に対して交付されました。

多面的機能支払事業補助金 **決算額 2,659千円(2,651千円)**

多面的機能支払事業に対して交付されました。

林業専用道上頓別線開設事業補助金

決算額 17,840千円(17,901千円)

林道等整備工事事業に対して交付されました。

畜産特別資金利子補給補助金 **決算額 36千円(36千円)**

林道等整備工事事業に対して交付されました。

鳥獣被害防止総合対策事業補助金 **決算額 5,598千円(5,601千円)**

国が実施する鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業によるエゾシカの捕獲に対して交付されました。

地域づくり総合交付金 **決算額 80千円(180千円)**

鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業の対象外となるエゾシカの捕獲に対して交付されました。

- ・中頓別町エゾシカ有害捕獲事業 80千円

<教育費補助金>

(担当：教育委員会教育グループ)

教育支援活動促進事業補助金 **決算額 619千円(659千円)**

地域活性化のための仕組みづくりや施策を組み合わせ、地域の将来を担う子どもたちを育成し、地域創成の実現を目指すことを目的として交付されました。

- ・北海道学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金

地域づくり総合交付金 **決算額 5,000千円(5,000千円)**

浜頓別高校への通学便として運行するバスの運行経費に対して交付されました。

<総務費委託金>

(担当：総務課総務グループ・選挙管理委員会事務局・総務課住民グループ・政策経営課政策経営グループ)

統計調査事務委託金 **決算額 274千円(285千円)**

各種統計調査事務を執行するための経費として交付されました。

- ・学校基本調査市町村交付金 8千円
- ・経済センサス調査区管理市町村交付金 4千円
- ・国勢調査調査区設定市町村交付金 42千円
- ・農林業センサス本調査市町村交付金 220千円

徴税費事務委託金 **決算額 2,283千円(2,273千円)**

当該年度の納税義務者数を基準として、住民税事務に要する経費として交付されました。

戸籍住民登録費委託金 **決算額 10千円(9千円)**

国が実施する厚生統計調査に伴い、町の人口動態調査事務に要する経費として交付されました。

・人口動態調査事務委託金 10千円

北海道権限移譲事務委託金 **決算額 172千円(172千円)**

権限の移譲事務に要する経費として交付されました。

在外選挙委託金 **決算額 0千円(1千円)**

在外選挙人に関する事務費として交付されるものです。令和6年度は実績がありませんでした。

〈農林業費委託金〉

(担当：産業課産業グループ)

家畜法定伝染病事務委託金 **決算額 121千円(121千円)**

家畜伝染病予防法に基づき実施された牛ヨーネ病検査にかかる委託料及び、みつばちふそ病検査手数料及び証明書発行手数料として交付されました。

農業農村整備事業監督等補助業務委託金 **決算額 83千円(83千円)**

道営草地整備型公共牧場整備事業の円滑な事業実施を進めるための経費として交付されました。

〈土木費委託金〉

(担当：建設課建設グループ)

河川管理委託金 **決算額 888千円(886千円)**

樋門樋管を管理するための経費として交付されました。

建築基準法業務委託金 **決算額 13千円(20千円)**

建築基準法事務を執行するための経費として交付されました。

建設リサイクル法業務委託金 **決算額 9千円(7千円)**

建築リサイクル法事務を執行するための経費として交付されました。

財産収入

〈財産運用収入〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

利子及び配当金 **決算額 3,749千円(3,791千円)**

町が所有する基金の利子及び有価証券の配当金です。

・ 株式配当金	1 8 千円
・ 基金利子	3, 7 3 1 千円

〈財産貸付収入〉

(担当：建設課建設グループ)

土地貸付収入 決算額 2, 3 9 0 千円 (2, 4 1 7 千円)

町が所有する土地の貸付料として徴収しました。

・ 北海道電力（株）ほか	2, 0 6 2 千円
・ 国営草地弥生団地採草地貸付収入	3 2 8 千円

建物貸付収入 決算額 2, 4 3 7 千円 (2, 7 4 3 千円)

町が所有する建物の貸付料として徴収しました。

・ 教職員住宅貸付料	2, 4 3 7 千円
------------	-------------

施設貸付収入 決算額 5, 9 4 8 千円 (7, 2 5 2 千円)

町が所有する施設の貸付料として徴収しました。

・ 旧中頓別加工事務所貸付料	5 8 千円
・ 旧敏音知教員住宅貸付料	9 0 千円
・ 旧松音知教員住宅貸付料	7 9 千円
・ 旧小頓別教員住宅貸付料	4 3 0 千円
・ 旧宮下土木現業所車庫貸付料	3 9 千円
・ 旧町職員住宅貸付料	8 6 0 千円
・ 旧農業高校教員住宅貸付料	3, 4 4 8 千円
・ 旧公衆浴場黄金湯貸付料	6 2 千円
・ 町有施設貸付料	3 1 千円
・ 宗谷森林管理署中頓別公務員宿舍貸付料	1 1 7 千円
・ 旧消防吏員待機宿舍貸付料	7 3 4 千円

施設貸付収入滞納繰越分 決算額 4 1 7 千円 (0 千円)

町が所有する施設の貸付料として徴収するもので、前年度までに徴収できなかった貸付料を徴収しました。

〈不動産売払収入〉

(担当：建設課建設グループ)

土地売払収入 決算額 0 千円 (1 千円)

町が所有する土地の売払いによる収入です。

建物売払収入 決算額 0 千円 (1 千円)

町が所有する建物の売払いによる収入です。

＜物品売払収入＞

（担当：建設課建設グループ）

物品売払収入

決算額 935千円（1千円）

町が所有する物品の売払いによる収入です。

- ・除雪トラック1台、ロータリー除雪車1台売払い

＜生産物売払収入＞

（担当：産業課産業グループ）

立木売払収入

決算額 11,595千円（10,158千円）

町が実施する町有林の主伐や間伐で発生した立木の売払いによる収入です。

＜有価証券売払収入＞

（担当：政策経営課政策経営グループ）

有価証券売払収入

決算額 22千円（22千円）

- ・北海道曹達株式会社株式譲渡代金

22千円

町が所有する有価証券の株式併合に伴う譲渡代金です。

寄附金

＜一般寄附金＞

（担当：総務課総務グループ）

一般寄附金

決算額 1,010千円（10千円）

一般寄附金として個人から2件の寄附をいただきました。

＜指定寄附金＞

（担当：政策経営課政策経営グループ）

指定寄附金

決算額 23,491千円（20,700千円）

「豊かな自然環境の保全及び活用」や「未来を担う子どもの健全育成及び教育」等の用途を特定した寄附（ふるさと納税）や、中頓別町まち・ひと・しごと創生推進計画への寄附（企業版ふるさと納税）をいただきました。

- ・ふるさと納税

19,291千円

- ・企業版ふるさと納税

4,200千円

繰入金

〈長寿園施設改修拡張事業基金繰入金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

長寿園施設改修拡張事業基金繰入金

決算額 27,205千円(27,205千円)

老人ホーム長寿園の施設改修拡張事業に要する経費の財源として積立した基金です。事業実施時に発行した過疎対策事業債の令和6年度償還分に充てるため取り崩しました。

〈地域活性化基金繰入金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

地域活性化基金繰入金

決算額 91,637千円(91,637千円)

地域医療の確保、住民の日常的な交通手段の確保をはじめ、地域住民が将来にわたり安心して暮らすことができる地域社会の実現を図るための経費の財源として積立した基金です。過疎対策事業債及び辺地対策事業債の令和6年度償還分に充てるため取り崩しました。

・ソフト分	68,887千円
・ハード分	22,750千円

〈まちづくり基金繰入金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

まちづくり基金繰入金

決算額 26,717千円(32,278千円)

まちづくりに資する事業の財源として積立した基金です。中頓別学園整備事業の学校教育サポートや社会教育関連の委託業務経費に充てるため取り崩しました。

〈未来を担うこどもの健全育成と教育の基金繰入金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

未来を担うこどもの健全育成と教育の基金繰入

決算額 16,652千円(17,237千円)

次代を担う子ども達の健やかな成長と教育の向上に資する事業の財源として積立した基金です。英語教育に資する事業や森のこども園委託業務経費に充てるために取り崩しました。

〈地方創生基金繰入金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

地方創生基金繰入金

決算額 30,407千円(50,555千円)

人口減少対策、地方創生を目的とした事業の財源として積立した基金です。醸造用ブドウ栽培に要する設備の導入やミルクプラント運営等の経費に充てるため取り崩しました。

＜公共施設整備等基金繰入金＞

（担当：政策経営課政策経営グループ）

公共施設整備等基金繰入金 決算額 63,231千円（67,641千円）

※（ ）うち、2,888千円は令和7年度への繰越明許費です。

公共施設の整備及び解体に要する経費の財源として積立した基金です。一般廃棄物処理で使用するトラックスケールの更新や公営住宅の維持管理等に係る経費に充てるため取り崩しました。

＜畜産振興基金繰入金＞

（担当：政策経営課政策経営グループ）

畜産振興基金繰入金 決算額 4,950千円（4,950千円）

畜産振興に資する経費の財源として積立した基金です。牧草地更新を実施した酪農家に対する補助金に充てるため取り崩しました。

＜奨学金等償還支援基金繰入金＞

（担当：政策経営課政策経営グループ）

奨学金等償還支援基金繰入金 決算額 6,482千円（6,486千円）

中頓別町内における就業を促進し、地域の担い手となる人材を確保するため、奨学金等の償還支援を行い、若者の町外流出の抑制と町外からの流入と定住の促進を図ることを目的とした施策に要する経費の財源として積立した基金です。奨学金の償還支援に充てるため取り崩しました。

＜森林環境譲与税基金繰入金＞

（担当：政策経営課政策経営グループ）

森林環境譲与税基金繰入金 決算額 16,251千円（19,108千円）

間伐や人材育成、担い手確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に必要な事業に要する経費の財源として積立した基金です。公共施設の木質化・木造化に向けた検討や高性能林業機械導入に対する助成金等の経費に充てるため取り崩しました。

＜財政調整基金繰入金＞

（担当：政策経営課政策経営グループ）

財政調整基金繰入金 決算額 0千円（0千円）

災害対策、その他必要やむを得ない財政重要に応ずる財源として積立する基金です。令和6年度の取り崩しはありませんでした。

〈地域公共交通維持活性化基金繰入金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

地域公共交通維持活性化基金繰入金

決算額 0千円(16,109千円)

町民が安心して利用することができる持続可能な公共交通の維持及び確保に向けた施策の財源として積立する基金です。令和6年度の取り崩しはありませんでした。

繰越金

〈繰越金〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

前年度繰越金

決算額 142,072千円(142,072千円)

前年度からの繰越金です。

諸収入

〈延滞金〉

(担当：総務課住民グループ)

延滞金

決算額 0千円(1千円)

町税を納期限後に納める場合に、納期限の翌日から納める日までの期間の日数に応じ、一定の割合で計算した額を町税と合わせて納めていただくものです。令和6年度は実績がありませんでした。

〈預金利子〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

預金利子

決算額 256千円(10千円)

各金融機関へ預け入れしている定期預金の利子です。

〈中小企業融資貸付金収入〉

(担当：産業課商工労働・観光まちづくりグループ)

中小企業融資貸付金収入

決算額 20,000千円(20,000千円)

中頓別町中小企業振興資金融資条例に基づき、令和6年度に町から金融機関に預託していた資金です。同条例では、町内中小企業の育成振興、経営の合理化を促進するため、金融機関から町内中小企業へ有利な融資を行っています。

＜後期高齢者医療広域連合受託事業収入＞

（担当：保健福祉課保健グループ）

後期高齢者医療広域連合受託事業収入

決算額 8,433千円（10,206千円）

後期高齢者医療広域連合から委託を受けて実施している事業に要する経費として支払われた収入です。

- | | |
|---------------------|---------|
| ・ 後期高齢者健康診査事業委託料 | 309千円 |
| ・ 後期高齢者歯科健康診査事業委託料 | 25千円 |
| ・ 保健・介護一体的実施推進事業委託料 | 8,099千円 |

歯科診療所歯科検診受託事業収入

決算額 6千円（0千円）

中頓別町立歯科診療所において実施した、中頓別町後期高齢者歯科健康診査の委託料となります。

＜介護保険サービス収入＞

（担当：保健福祉課福祉グループ）

居宅介護予防サービス計画費収入

決算額 842千円（600千円）

介護予防支援事業所の介護支援専門員が要支援者の介護予防サービス計画（ケアプラン）の作成に対する報酬として支払われた収入です。

＜老人福祉施設介護収入＞

（担当：養護老人ホーム長寿園総務グループ）

養護老人ホーム施設介護収入 決算額 60,405千円（60,049千円）

養護老人ホーム施設入居者に対し施設利用料として保険者となる各市町村から支払われた措置費収入です。

特定施設入所者生活介護収入 決算額 19,770千円（13,312千円）

養護老人ホーム施設入居者のうち、介護サービスの提供を受けた方から支払われた介護報酬及び自己負担額による収入です。

一般施設入所者生活介護収入 決算額 170千円（0千円）

各種リース料（テレビ、冷蔵庫、ポット）等に係り支払われた収入です。

＜雑入＞

雑入 決算額 29,177千円（26,653千円）

他の歳入科目に該当しない収入です。

- | | |
|----------------------|-------|
| ・ 電気料 | 67千円 |
| ・ 学校健康会掛金 | 37千円 |
| ・ 重度心身障害者等高額療養費個人負担金 | 231千円 |

・ 公営住宅等し尿浄化槽委託料個人負担金	6 4 千円
・ 生命保険団体取扱手数料	7 9 千円
・ こども園職員給食代	3 3 9 千円
・ 雇用保険個人負担分	8 9 0 千円
・ 農業者年金事務委託金	2 2 7 千円
・ 宝くじ交付金	1, 7 2 8 千円
・ 新年交礼会会費	4 5 千円
・ 後期高齢者医療広域連合長寿・健康増進事業特別対策補助金	5 1 2 千円
・ リサイクル売り渡し代金	1, 8 5 6 千円
・ 廃食油売渡代金	5 千円
・ 日本スポーツ振興センター共済掛金	9 千円
・ 草地畜産基盤整備事業参加者負担金	1, 9 1 8 千円
・ 印刷代	1 0 8 千円
・ コピー代	5 4 千円
・ 地図代	1 千円
・ 鍾乳洞ふれあい公園協力金	1 0 6 千円
・ 著作権利用料	2 千円
・ 建物災害共済保険	3 9 6 千円
・ 再商品化合理化拠出金	6 千円
・ 郵便代	3 4 千円
・ 狂犬病予防注射案内文書郵送料負担金	2 千円
・ 飲用乳等売上料	2, 2 7 9 千円
・ まちづくり・人づくり推進交付金	4 6 1 千円
・ 町史販売代金	1 7 千円
・ 地域づくり研修会助成金（社会教育推進事業）	1 0 0 千円
・ ライドシェアガソリン代	1 8 千円
・ 中頓別町受託事業に係る清算金	1, 2 4 6 千円
・ 精通者謝金	5 千円
・ 頭の検診個人負担金	2 4 5 千円
・ ライドシェア保険料払い戻し金	7 千円
・ 地域公共交通浜頓別町負担金	1, 4 3 0 千円
・ デマンドバス料金収入	9 1 6 千円
・ 地域生活サポート事業利用料	2 2 千円
・ デマンドバスフィーダー補助金	3, 5 1 4 千円
・ 地域づくり研修会助成金（6次産業化推進事業）	2 6 4 千円
・ 未来を創る子ども応援事業助成金（中頓別学園整備事業）	9 8 0 千円
・ 地域づくり研修会助成金（中頓別学園整備事業）	3 0 0 千円

・ 医師及び医療福祉技術者等養成助成返還金	2, 4 0 0 千円
・ 金属くず売渡代金	8 7 0 千円
・ 配食サービス委託金	3 0 0 千円
・ 退職手当組合負担清算金	3, 2 4 0 千円
・ ワクチン生産体制等緊急整備基金助成金	1, 3 7 8 千円
・ 地域農産物販売収入	1 2 千円
・ がん保険集金事務費	7 9 千円
・ 生命共済保険推進交付金	4 1 千円
・ 研修センター受講助成金	1 0 9 千円
・ 人材育成等事業費助成金	2 0 0 千円
・ 農地保有合理化事業等委託金	6 千円
・ 森林経営計画に係る証明手数料	1 千円
・ スノーフェスティバル協賛金	2 0 千円
・ 公衆電話定額手数料返還金	1 千円

〈滞納繰越分〉

公営住宅等し尿浄化槽委託料負担金滞納繰越分 決算額 2 9 千円（0 千円）

町債

〈過疎対策事業債〉

（担当：政策経営課政策経営グループ）

過疎対策事業債 決算額 5 6 3, 9 0 0 千円（6 1 2, 0 0 0 千円）

※うち、2 6 7, 8 0 0 千円は、令和5年度からの繰越明許費です。

※（ ）のうち、4 6, 5 0 0 千円は、令和7年度への繰越明許費です。

過疎地域持続的発展市町村計画に基づき実施する事業の財源として発行しました。

・ 過疎地域持続的発展特別事業	6 0, 8 0 0 千円
・ 消火栓移設事業	3, 7 0 0 千円
・ 医療機械器具購入事業	5 0 0 千円
・ 特定環境保全公共下水道整備事業	2 1, 8 0 0 千円
・ 草地整備型公共牧場整備事業	5 3, 6 0 0 千円
・ 中頓別学園整備事業	2 5 8, 3 0 0 千円
・ 中頓別町コミュニティ施設整備事業	3 1, 1 0 0 千円
・ パッカー車購入事業	1 2, 0 0 0 千円
・ 2 条仲通り線整備事業	1 0, 6 0 0 千円

・ ナースコール整備更新事業	2, 9 0 0 千円
・ 配水管布施替事業	3 0 0 千円
・ 中頓別弥生線交付金事業	5 6, 9 0 0 千円
・ 簡易水道等施設整備費国庫補助事業	3 9, 0 0 0 千円
・ 認定こども園園庭整備事業	1 2, 4 0 0 千円

＜辺地対策事業債＞

（担当：政策経営課政策経営グループ）

辺地対策事業債 決算額 2 4 4, 9 0 0 千円（2 9 3, 4 0 0 千円）

※（ ）のうち、4 7, 7 0 0 千円は、令和7年度への繰越明許費です。

・ 秋田原野線交付金事業	3 1, 3 0 0 千円
・ 森林管理道松麿線開設事業	2 1, 1 0 0 千円
・ 橋梁長寿命化整備事業	1 0, 2 0 0 千円
・ 中頓別弥生線交付金事業	6, 3 0 0 千円
・ 簡易水道等施設整備費国庫補助事業	4 1, 8 0 0 千円
・ 除雪機械整備事業	4 2, 1 0 0 千円
・ 幹線林道弥生線改良事業	2 7, 2 0 0 千円
・ 林業専用道上頓別開設事業	1 7, 1 0 0 千円
・ 中頓別町営牧場配水管布設替事業	1 5, 0 0 0 千円
・ 寿野外レクリエーション施設改修事業	8, 0 0 0 千円
・ ピンネシリ温泉改修事業	5, 0 0 0 千円
・ 中頓別町営牧場電気牧柵整備事業	1 9, 8 0 0 千円

＜臨時財政対策債＞

（担当：政策経営課政策経営グループ）

臨時財政対策債 決算額 3, 8 1 8 千円（3, 8 1 8 千円）

地方交付税が財源不足額に満たなかったため、不足額の補填として発行しました。

＜緊急自然災害防止対策事業債＞

（担当：政策経営課政策経営グループ）

緊急自然災害防止対策事業債 決算額 2 4, 4 0 0 千円（2 4, 4 0 0 千円）

緊急自然災害防止対策事業計画において緊急に実施するべき事業として位置付けられた災害発生予防及び災害拡大防止に係る事業の財源として発行しました。

・ 道路施設予防保全事業	2 3, 6 0 0 千円
・ 普通河川補修事業	8 0 0 千円

＜公共施設等適正管理推進事業債＞

(担当：政策経営課政策経営グループ)

公共施設等適正管理推進事業債 決算額 32,700千円(32,700千円)

公共施設等総合管理計画に基づき実施する公共施設の維持管理・更新等に係る事業の財源として発行しました。

・道路長寿命化事業 32,700千円

＜緊急浚渫推進事業債＞

(担当：政策経営課政策経営グループ)

緊急浚渫推進事業債 決算額 5,900千円(5,900千円)

当町に位置する普通河川について、早期の河道断面確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要であるため、河川環境に配慮しつつ堆積土砂掘削を行い、河道のおける一連の目標河道断面を確保する工事の財源として発行しました。

・普通河川浚渫事業 5,900千円

【 歳出 】

議会費

＜議会費＞

(担当：議会事務局)

議会事務事業 決算額 45,886千円(46,115千円)

この経費は、主として議員の報酬、期末手当、定例会や臨時会、各委員会等の会議出席に伴う費用弁償に使われるほか、町議会の活動状況を広く町民に周知し、議会に対する理解と認識を深めてもらうための議会広報発行費用、議事録作成に係る会議録調製委託料、事務局職員の人件費等に充てました。

●議員の報酬、期末手当、議員共済負担金・事務費 27,615千円

●定例会や臨時会、各委員会、研修や視察等の費用弁償 800千円

●議員公務災害補償組合負担金 55千円

■職員に関する経費

●事務局職員の給料、各種手当、共済組合負担金 14,320千円

●事務局職員の普通旅費、協議会負担金 384千円

●退職手当組合事前納付金、退職手当組合負担金 546千円

●管内議長会各種負担金 29千円

■事務的経費

●議会だより印刷費 935千円

●議会だより配付料	8千円
●車両燃料費、高速料金、駐車場代	47千円
●法令集追録代や議会関連雑誌定期購読代、消耗品代	257千円
●会議録調製委託料	811千円
■その他の経費	
●議長交際費	79千円

【参 考】

○宗谷管内町村議会議員年収比較

(令和6年7月1日現在)

町村名	順	議長 (円)	順 位	副議長 (円)	順 位	委員長 (円)	順 位	議員 (円)
中頓別町	⑥	3,612,500	⑦	2,904,450	⑦	2,745,500	⑦	2,586,550
管内平均		3,833,972		3,136,300		2,965,611		2,817,144

(順位は、宗谷管内8町1村中の順位)

総務費

〈一般管理費〉

(担当：総務課総務グループ)

儀式典礼事業

決算額 111千円(128千円)

自治記念式、神社祭、檜原民之助氏慰霊祭、新年交礼会等の行事に要する経費を執行しました。

行政改革事務事業

決算額 15千円(41千円)

行政改革推進委員会を開催し、職員給料、職員数のほか、公共事業費、実質公債費比率の推移のほか、財政状況では特に、新しい学校づくり事業に伴う公債費の見込みを説明しています。

自衛官募集事務事業

決算額 17千円(18千円)

国からの事務委託金を財源として、自衛官募集に係る事務を執行しました。

人事管理事務事業

決算額 634,582千円(644,565千円)

特別職、一般職及び会計年度任用職員の給料支給のほか、共済事務や健康診断等の福利厚生事務、職員の研修や進退に関する事務等、組織の内部管理事務のために要した経費です。

人事院勧告では約30年ぶりとなる高水準のベースアップとなり、初任給引き上げのほか、若年層を中心とする月例給の2.76%増、ボーナス0.1月増額などの改正を行いました。

職員数では新規採用者の確保が困難になっているため、社会人採用を行ってきています。

- ・ 職員数の増 長寿園町営化に伴う正職員 30 名、会計年度任用職員 21 名増
一般行政職（社会人）5 名増
- ・ 職員数の減 一般行政職 10 名退職（定年 1 名、再任用 2 名、自己都合 7 名）
助産師、保健師、看護師、介護福祉士、ケアマネ等 9 名退職

町村会事務事業 決算額 2,801 千円（2,801 千円）

町村で組織されている町村会では、中央要望や政策懇談会などの政務活動や、管内での職員採用や職員研修を共同実施し、運営経費として構成する町村規模に応じて負担金を支出しています。

法制事務事業 決算額 7,400 千円（7,401 千円）

町例規の制定、改正の審査や例規システムの運用管理を委託しています。経常的な業務のほか、令和 6 年度では、アナログ規制の点検見直しに伴う町例規の洗い出しを業務委託を活用して実施しました。

総務関連事務事業 決算額 6,494 千円（8,022 千円）

特別職の出張旅費のほか、郵送料、図書追録等、総務課の一般的な事務を行うために必要な経費を支出しました。

職員研修事業 決算額 4,195 千円（4,647 千円）

採用となった新任の職員研修から中級職員研修、管理監督者研修を計画的に参加させるほか、法務研修などの専門研修や業務に必要な技術的な講習を受講させ、職員の資質向上を図っています。

令和 6 年度からは既存の研修のほか、e—ラーニングの導入により、職員各自が自分のペースでスキルを学べる体制を整備しました。

中頓別町奨学金等償還支援事業 決算額 6,483 千円（6,487 千円）

中頓別町内への就業を促進し、地域の担い手となる人材を確保するため、町内事業所等に就業中、或いは就業予定があり、町内に住所があるか定住をする見込みがある者に対し奨学金の償還支援を行い、若者の町外流出の抑制と町外からの定住促進を図っています。

- ・ 奨学金返還支援助成 12 名（合計 2,386,874 円）
- ・ 奨学金一括償還貸付 1 名（4,095,620 円）

〈財政管理費〉

（担当：政策経営課政策経営グループ）

財政管理事業 決算額 2,033 千円（2,088 千円）

財政状況ヒアリング等に係る旅費及び車両燃料費、また、口座振替手数料や窓口収納手数料等を支出しました。

物品管理事業 決算額 3,483 千円（3,486 千円）

職員が業務上必要な事務用品やコピー機・印刷機の保守に係る経費を支出しました。

財務会計管理事業 決算額 2,363 千円（2,364 千円）

会計処理や財務情報の管理を行うための財務会計システムや起債情報の管理を行うための

起債システムの保守に係る経費等を支出しました。

- | | |
|-------------------|-------------|
| ・ 財務会計システム保守業務委託料 | 2, 1 5 2 千円 |
| ・ 起債管理システム更新業務委託料 | 2 1 1 千円 |

〈文書広報費〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

広報公聴事業 決算額 5, 0 6 9 千円 (5, 1 1 0 千円)

町民の暮らしに密着した情報や町の魅力を発信するための経費です。

- ・ 広報誌なかとんべつの発行

町が抱える様々な問題や課題、町で起きている出来事等をタイムリーにお知らせしました。町民の情報に関するニーズをしっかりと捕捉し、特集等を中心に紙面の見直しを進めながら内容の充実を図りました。

- ・ 広報なかとんべつ お知らせ版の発行

健康相談の日程や様々な行政の情報をお知らせ版として月2回を発行し、町民への情報提供と周知を図りました。

- ・ 街頭放送の実施

町のお知らせや緊急放送等町内（市街地のみ）への周知手段として町内の街頭放送を運営する中頓別町街頭放送協会に加盟しています。

- ・ 町政懇談会「町長がおじゃまします」の実施

町内の希望団体、希望自治会を対象とし、令和6年度は各課の様々な取り組みについて地域住民への説明会を兼ねて行いました

〈財産管理費〉

(担当：建設課建設グループ)

町有財産維持管理事業 決算額 1 1, 2 9 1 千円 (1 1, 5 9 8 千円)

- | | |
|-----------------------|-------------|
| ・ 上駒旧農業高校職員住宅屋根葺替工事ほか | 1, 3 8 9 千円 |
| ・ 自治会館修繕補助金（3箇所） | 7 6 5 千円 |
| ・ 地籍管理データシステム更新委託 | 6 6 0 千円 |
| ・ 建物および自動車保険料 | 6, 1 2 3 千円 |

役場庁舎維持管理事業 決算額 8, 4 8 1 千円 (8, 6 5 3 千円)

庁舎の電気料や電話料等、建物の維持管理に関する経費を支出しました。

- | | |
|----------------|-------------|
| ・ 役場庁舎正面玄関修繕工事 | 1, 3 0 7 千円 |
| ・ 役場庁舎警備等管理委託 | 2, 4 7 5 千円 |
| ・ 役場庁舎ストーブ購入 | 2 7 3 千円 |

建設設計業務支援事業 決算額 5, 2 2 5 千円 (8, 1 1 3 千円)

※（ ）のうち、2, 8 8 8 千円は令和7年度への繰越明許費です。

町有建物等の施設整備及び維持保全に係る技術支援業務に関する経費を支出しました。

・維持保全工事等支援業務委託料

5, 225千円

〈企画費〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

いきいきふるさと推進事業 決算額 3, 157千円(4, 449千円)

町内に転入された方へ、中頓別で生活する上で必要な情報の提供を行っています。

また、結婚や子育てに対しては祝金等の贈呈や支援を行い、地域が温かい気持ちで支えあ
うまちづくりを目指しています。

・転入支援事業	中頓別町生活情報誌の配布	47千円
	なかとん牛乳引換券の配布	39千円
	就職祝金	50千円
・就学支援事業	高等学校等通学家庭補助	700千円
・結婚支援事業	結婚祝金(夫婦1組300, 000円)	1, 200千円
・子育て支援事業	出生祝金	800千円
	・第1子～第2子 10万円(内5万円分商工会発行商品券)	
	・第3子以降 30万円(内5万円分商工会発行商品券)	
	絵本プレゼント(1歳児、1歳6ヶ月児、3歳児を対象に1人2冊 を乳幼児健診時に手渡し)	47千円
	紙オムツ、紙オムツ用ゴミ袋	274千円

企画総務事業 決算額 2, 210千円(2, 378千円)

政策経営課の一般的な事務を行うために必要な経費です。

・旅費	146千円
職員旅費	146千円
・需用費	170千円
消耗品費	2千円
車両燃料費	93千円
車両維持費(オイル交換ほか)	75千円
・役務費	21千円
車検手数料	3千円
自賠責保険料	18千円
・負担金	1, 858千円
宗谷本線活性化推進協議会	20千円
全国積雪寒冷地帯振興協議会	2千円
全国山村振興連盟北海道支部	45千円
公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター	10千円
令和6年度北方領土復帰期成会同盟負担金	10千円
中頓別町入浴施設燃料費高騰対策事業補助金	1, 770千円

北海道自治体学会政策シンポジウム２０２４参加負担金	１千円
・公課費	１５千円
自動車重量税	１５千円

全国過疎地域自立促進連盟事業 決算額 １５６千円（１５６千円）

過疎地域における産業、経済の開発振興と地域住民の生活、文化の安定向上を図る、全国過疎地域自立促進連盟と連携し、過疎地域対策の充実強化を図っています。

総合開発委員会事業 決算額 １９，１０９千円（１９，７０３千円）

令和４年度から第８期総合計画がスタートしました。この１０年間のまちづくりとなるキャッチフレーズは「小さな中頓別（まち）のしあわせをデザインする」で、高齢者人口が近いうちに減少する方向に転じ、人口減少がさらに進む時代です。

計画の推進管理のため毎年事務事業の評価作業と、総合開発委員会外部評価委員会による評価会議を開催し、その内容について町ホームページで公表しました。

また、計画策定の段階でたくさんの町民の皆さんにご協力をいただいて策定した計画には、町民アイデアである「７つのアクション」からなる７チームの個別状況に合わせながら、そのフォローアップ体制を構築（活動コーディネーターの配置等）して実現できるようにミーティングを重ね、各種活動となるプログラムを企画して町民参加型の意見交換会や、ワークショップを実践してきました。取り組み内容は、広報誌やＳＮＳ（インスタグラム）による周知、情報発信を工夫を重ねながら（フリーペーパーを公共施設に設置）積極的に行いました。

さらに、教育環境の充実のために検討している義務教育学校と町民センター機能を一体化する「人生１００年の学び舎」のうち、生涯学習センター機能を“まちづくり”とする視点で運用体制の検討、「まちづくり」は「ひとづくり」と連動したシビックプライドの醸成、人材育成など、子どもから大人までが集う学び場づくりに向けて検討を重ねました。

・委員会の開催（外部評価委員会・総合戦略推進委員会合同会議 ３回）	８７千円
・委員等旅費	４千円
・地域おこし協力隊員経費	４，１４６千円
・第８期総合計画フォローアップ業務委託料	３，５４２千円

※チーム別プログラム・全体会議

全２２回開催 町民メンバー 延 ９４人参加（事務局含）

一般参加者 延 １４３人参加

事務局打合せ 週１回実施

・まちづくり生涯学習センター運用支援業務委託料	１０，９８９千円
先進地視察（島根県益田市）	
町民活動活性化に向けたヒアリング	延べ２９人参加
健康づくり町民活動サポート	全１４回 延べ８７人参加
・チーム活動消耗品、イベント周知チラシ作成ほか	１１５千円
・ガスコンロバーナー等器機修繕料	９０千円
・専用スマートフォン電話料	１２千円

- ・外部サーバー使用料ほか 21千円
- ・備品購入費（スマートフォン1台、乾湿両用掃除機1台） 102千円

地方バス路線維持対策事業 決算額 2,623千円（2,623千円）

平成元年度にJR天北線が廃止され、代替バスの運行が開始し、これまで関連市町村で連携を取り、対策協議会により様々な対策を検討してきました。

令和6年度においては、都市間バス天北号への補助を行いました。

- ・天北号維持確保対策補助金 2,623千円

土地利用等規制対策事業 決算額 22千円（22千円）

国土利用計画法に基づく規制、誘導や土地取引の届出事務に要する経費です。

地域づくり活動支援補助事業 決算額 140千円（150千円）

町民による地域特性や地域資源を活かした地域づくりを推進する活動に対して補助金を交付することにより、地域振興と町民福祉の向上を図ることを目的としています。令和6年度は1事業に対して補助を行いました。

- ・コミュニティでつくる子育てと自然体験事業 140千円

定住自立圏事業 決算額 8千円（14千円）

中心市宣言（定住自立圏構想推進要綱第4に規定）を行った「稚内市」「名寄市及び士別市」と相互に役割を分担し連携しながら、定住に必要な都市機能及び生活機能を確保し、安心して暮らせる定住自立圏を形成することを目的として取り組んでいます。

- ・職員旅費 0千円
- ・車両燃料費 8千円

大崎上島町交流推進事業 決算額 1,689千円（1,845千円）

平成2年10月に本町の開拓の始祖である樽原民之助氏の出身地である広島県東野町（現大崎上島町）と姉妹町の縁を結び、町民同士の交流を行っております。

- ・実行委員会補助金 1,689千円

まちづくり団体支援事業 決算額 147千円（300千円）

地域の振興や発展に向けたまちづくり活動を行う団体に対して支援を行いました。

- ・北海道日本ハムファイターズ中頓別後援会助成金 147千円

地域青年交流の場設定事業 決算額 839千円（1,436千円）

地域の青年同士の交流機会を創出すべく、なかとんべつ青年交流事業実行委員会が主体となって異業種間交流を進めてきました。

令和6年度は地域での取り組みの先進事例を学ぶため、先進地視察として津別町を訪問しました。また、視察で得た知見を中頓別町にフィードバックするため、視察報告会を実施しました。

- ・なかとんべつ青年交流事業実行委員会補助金 839千円

ふるさと応援寄附事業 **決算額 12,695千円(13,780千円)**

中頓別町を応援していただける町外の個人及び企業・団体から広く寄附金を募り、これを財源に環境保全や子どもの健全育成、中頓別町まち・ひと・しごと創生推進計画等の各種事業に活かしています。

令和6年度は個人版ふるさと納税では2,173件、19,291千円の寄附金をいただき、地域の特産品を返礼品として贈りました。企業版ふるさと納税では8件、4,200千円の寄附金をいただきました。

・ふるさと応援寄附返礼	5,904千円
・送料	2,935千円
・手数料(サイト利用料・決済手数料等)	1,568千円
・委託料(サイト運営業務・発送手配業務等)	2,288千円

広域連携事業 **決算額 216千円(221千円)**

東京都港区と宗谷町村会との連携事業を実施しており、みなと区民まつりへの出店やPRイベント等を実施することで、宗谷地域のブランド力向上を図っています。令和6年度は宗谷イチ押しプロモーションに参加し、中頓別町をPRしました。

・普通旅費	99千円
・需用費	102千円
・役務費	15千円

コモンズ形成事業 **決算額 53,610千円(53,907千円)**

地方創生として、本プロジェクトの最終年の各種取り組みを実践しました。

1つ目の「関係人口を交えたコモンズ形成」では、北海道大学(関係人口)と連携して、町民を対象としたインタビューを実践いただき、まちづくりの考え方やライフヒストリーを把握して、これらから中頓別らしい「共助」を考える基礎資料とするまとめを行いました。

2つ目の「“相談”機能の整備」では、移住された方のみならず町外在住の移住関心者も含めて「困りごと」を包括・横断的にその解決に向けて必要なサポートをし、居場所、仕事、住まいを提供することを目的として、中頓別町くらしとしごとの相談窓口の運用に努めています。

また、「くらし」に関連するテーマに焦点を当てて、個人の困りごとを町や地域の課題と捉え、住民同士で話し合い、課題や将来の希望の共有を行い、実践へつなげることを目的として、なかとん「くらし」座談会を実施しました。

3つ目の「“マッチング”機能の整備」では、全世代型ファミリーサポート事業の仕組みづくりのため、住民が相互に支援し合う共助の仕組みづくりとして「地域生活サポート事業」を展開していくにあたって、「支え合いの仕組みづくり会議」を設置して、町民が暮らしと仕事の面で「支え」「支えられる」仕組みづくりを実施しました。

共助の仕組みを推進する大きな柱としているライドシェアは8年を経過しました。移動手段に困る町民へのサポートをするため、定期的に交通グループ会議を開催して、課題の共有や改善等を図り推進しています。

しごとマッチング機能の促進のため、町内事業者の担い手を確保する①中頓別町無料職業紹

介所の開設を起点に、令和4年4月から②中頓別町特定地域づくり事業協同組合の運用をスタートしました。①、②を含めた情報を発信する③中頓別町くらしとひとの相談窓口Webサイト運営に関して取り組みました。

愛称を「モトマツダ」として試行運用をスタートした旧松田商店をまちなかにて集えるコミュニティ施設として本格展開に向け、経年劣化による汚破損となっていた個所の改修工事を行いリニューアルオープンをしました。10月～3月における利用者は延べ1,048人でした。

・会計年度任用職員報酬等	2,316千円
・職員旅費	56千円
・需用費	764千円
モトマツダ電気代	337千円
〃 上下水道代	70千円
〃 灯油代	325千円
〃 ガス代	17千円
〃 消耗品費（衛生用具ほか）	12千円
公用車燃料代	3千円
・インターネット機器通信費	358千円
ライドシェアタブレット通信費	312千円
モトマツダWi-Fi通信費	46千円
・ドライバー保険等	10千円
・ドライバー運転録証明書発行手数料	1千円
・コモンズ形成事業支援業務委託料	15,455千円
関係人口を交えたコモンズ形成業務	4,004千円
“相談”機能の整備業務	5,709千円
“マッチング”機能の整備支援業務	5,724千円
・町コミュニティ施設（モトマツダ）改修工事	34,650千円

地域公共交通事業 **決算額 16,853千円（16,961千円）**

令和5年9月末をもって路線バス天北宗谷岬線が廃止となり、令和5年8月からデマンドバスの運行を開始しました。

デマンドバスの運行については、浜頓別町と2町で地域公共交通活性化協議会を立ち上げ、自家用有償旅客運送として運行することに対して、地域や関係機関との合意形成を図り、路線や時刻、料金等を協議しました。

・持続可能な公共交通維持確保に関する要望活動旅費	13千円
・車両に係る消耗品費、修繕費等	123千円
・車両に係る定期点検等	25千円
・デマンドバス運行等管理業務委託料	16,500千円
・予約管理システム利用料等	192千円

〈公平委員会費〉

(担当：総務課総務グループ)

公平委員会事務事業

決算額 7千円(7千円)

地方公務員の経済的条件や身分の保障に関する権利が適切に守られるよう設置が義務付けられている行政委員会で、宗谷管内の10市町村と8一部事務組合が共同設置している宗谷公平委員会に係る負担金を支出しています。

〈生活安全推進費〉

(担当：総務課住民グループ)

生活安全推進事業

決算額 3,264千円(3,464千円)

生活安全事業は、「町民の生活の安全を守る」事業であり、交通安全・防犯活動及び消費生活相談等、町民の日々の暮らしに密接した事業です。

交通事故防止に関しては、関係団体との連携強化のほか、町民の交通安全意識の高揚を図るため、街頭啓発や安全旗の設置、また、町内巡回パトロール等の活動を行っております。

交通安全対策を推進するための交通指導員は6名体制で街頭指導等を行っております。

また、防犯の観点から高齢者世帯や児童を不審者等から守る活動等が重要であるため、警察・各ボランティア団体等と連携し、見守りや啓発活動等に取り組むとともに、教育委員会が主催し、学校関係者等が参加する通学路安全推進会議の意向に沿って、防犯カメラの設置を取り進め、現在計8台で子どもたちの通学時の安全に配慮しています。

また、新入学児童へのランドセルカバーやメトロ帽の贈呈を継続しております。

地域生活安全協会の活動は役員会及び総会を開催し、高齢者住宅訪問や交通安全新聞の発行、交通事故慰霊祭の開催、こども安全パトロール隊やわんわんパトロール隊への支援を実施しました。消費者安全活動に関しては、特殊詐欺啓発活動や相談受付業務を実施しております。

自治組織運営支援事業

決算額 1,204千円(1,205千円)

自治会の育成指導、相互の連絡調整を図り、住民福祉の増進並びに地域振興発展に寄与することを目的とする自治会連合会に対して補助金を交付しました。今後も住民の自主的な活動となるように支援を行っていきます。

〈防災対策費〉

(担当：総務課総務グループ)

防災対策事業

決算額 5,340千円(5,711千円)

町民の生命と財産を守るため、災害の対応に備えるほか、実際の災害発生時においては、防災計画に基づき関係機関と連携のもと必要な対応活動を行います。

令和6年度では防災会議による地域防災計画の改定と防災活動報告、町職員向けの防災訓練の実施、備蓄品の整備・管理(食品4,000食分、ベッド300台、毛布500枚を備蓄)、防災無線の保守点検、ゼンリン災害用地図システムの保守・更新を実施しています。

〈バス転換関連施設維持管理費〉

(担当：建設課建設グループ)

天北線バス関連施設維持補修事業 決算額 3,947千円(4,284千円)

バスターミナル等及び待合室の維持管理に係る経費を支出しました。

〈情報推進費〉

(担当：総務課総務グループ)

中頓別町電子自治体推進事業 決算額 42,099千円(44,106千円)

老朽化した庁内システムの更新とDX推進に関する事業として、庁内システムのサーバ増強、セキュリティ強化、クラウドシステム導入による安定性向上と業務効率化を図ったほか、住民向けにLINE公式アカウントによる情報発信や行政サービス提供、文字起こしシステム、ノーコードアプリ開発による業務負担軽減、43項目の電子申請導入による利便性向上と業務効率化を行い、システム障害リスクの軽減、業務効率化、住民サービスの向上を図っています。

〈税務総務費〉

(担当：総務課住民グループ)

税務事務事業 決算額 43,764千円(117,262千円)

※()のうち、73,498千円は令和7年度への繰越明許費です。

徴収の状況は下記のとおりであり、例年並みの徴収率を維持しています。過年度分に移行した諸税は公平・公正な賦課、徴収業務を進めるべく、翌年度に個別に納税相談等を実施してまいります。

税目	現年度徴収率	過年度徴収率	全体徴収率	前年度比較
町民税	99.7%	22.2%	98.6%	△0.1%
固定資産税	99.1%	4.9%	95.1%	1%
軽自動車税	97.9%	24.4%	96.6%	△1.7%
国民健康保険税	98.3%	12.2%	94.9%	△1.4%

〈戸籍住民基本台帳費〉

(担当：総務課住民グループ)

戸籍事務事業 決算額 11,285千円(12,996千円)

※うち、6,182千円は令和5年度からの繰越明許費です。

戸籍法に基づき、戸籍・除籍・改製原戸籍の管理及び発行や住民に関する事務処理に要した経費です。宗谷5町村で戸籍システムサーバーを管理することで経費の節減と個人情報の安全確保に努めております。

住民事務事業

決算額 21,075千円(21,101千円)

※うち、2,987千円は令和5年度からの繰越明許費です。

住民基本台帳法等に基づき、町民の居住環境の公証、選挙人名簿の登録その他住民に関する登録、証明事務に関する事務処理の基礎となるもので、住民に関する記録を正確かつ統一的行うシステムの保守管理業務を委託しています。

社会保障・税番号制度が始まり、個人番号カード（マイナンバーカード）交付のため、システム利用及び情報連携に必要な機器整備事業を委託しています。住民の作成支援を行いながら普及に努めております。

〈選挙管理委員会費〉

(担当：選挙管理委員会事務局)

選挙管理委員会事業

決算額 863千円(863千円)

選挙管理委員会の運営にあたり、選挙管理委員報酬のほか、管理システムの運用経費を執行しました。

〈在外選挙費〉

(担当：選挙管理委員会事務局)

在外選挙事業

決算額 0千円(2千円)

在外選挙人の事務取扱はありませんでした。

〈衆議院議員選挙費〉

(担当：選挙管理委員会事務局)

衆議院議員選挙事業

決算額 6,718千円(6,784千円)

令和6年10月27日執行の第50回衆議院議員総選挙、第26回最高裁判所裁判官国民審査に係る経費を執行しました。最高裁判所裁判官国民審査の開票にあたっては、効率化を図るため選挙委託金を活用し投票用紙選別機を導入しました。

〈統計調査総務費〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

統計調査業務事業

決算額 275千円(286千円)

・学校基本調査

8千円

文部科学省が毎年行う幼稚園から高校までの生徒数等の実態を把握する調査です。

5月1日を基準として、調査を行いました。

・経済センサス調査区管理

4千円

経済センサス活動調査を円滑に行うための基礎調査内容の修正等の事務に要した経費です。

・国勢調査調査区設定

42千円

経済センサス活動調査を円滑に行うための基礎調査内容の修正等の事務に要した経費です。

・農林業センサス本調査

221千円

農林業センサスは、農林業の生産構造や就業構造、農山村地域における土地資源等、農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにするため、5年ごとに行われる調査です。

〈監査委員費〉

(担当：監査委員会事務局)

監査委員事務事業

決算額 1,150千円(1,162千円)

この経費は、監査委員2名の報酬や監査業務に伴う費用弁償等に充てました。

民生費

〈社会福祉総務費〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

社会福祉協議会運営補助事業

決算額 7,503千円(7,503千円)

社会福祉協議会の運営に係る経費の一部を助成します。主に社会福祉協議会の職員2名の人件費です。

冬期生活支援事業

決算額 300千円(300千円)

冬期間の積雪による安全を確保するため、65歳以上の単身世帯又は高齢者世帯、障がい者世帯に対しベランダ・屋根等の除雪等の経費の一部を助成します。令和6年度は1件申請がありました。

地域支え合い見守り活動推進事業

決算額 396千円(396千円)

社会福祉事業に要する要援護者システム運用のためのデータ更新に係る経費を支出しました。

権利擁護事業

決算額 700千円(700千円)

「なかとんべつサポートセンター」を社会福祉協議会に委託し、地域福祉の充実を図りました。

社会福祉総務事業

決算額 19,533千円(20,022千円)

各種委員会の報酬やその他社会福祉事業に要する経費を支出しました。

戦没者追悼平和祈念式開催事業

決算額 46千円(54千円)

戦争によって亡くなった中頓別町の戦没者に対し、追悼の意を表し恒久平和への誓いを新たにするため式典を実施しました。

民生委員協議会運営補助事業

決算額 1,536千円(1,760千円)

民生委員・児童委員で構成する中頓別町民生委員協議会に対し、その運営費の一部を補助しました。

協議会は、各民生委員の担当地区における生活状態の把握、高齢者等の安否確認、保護の指導、社会福祉事業施設や関係行政機関との連携等の任務の遂行と円滑な運営を図ることを

目的としています。

地域自殺対策事業 **決算額 895千円(1,652千円)**

誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指して、専門家による相談事業及びこころの健康に係る教育事業として、講演会や啓発等を実施しました。

・こころの相談件数：6名、健康教育学習会、講演会等：5回

社会福祉法人資格養成助成事業 **決算額 55千円(216千円)**

社会福祉法人が実施する「社会福祉事業を行うための職員養成」に要する経費の一部を助成しました。

・厚生園職員：1名

地域生活サポート事業 **決算額 116千円(254千円)**

高齢者等が地域で安心して暮らし続けられる環境づくりや支え合いのため、中頓別町地域生活サポートセンターを設置し、介護又は家事等の援助を受けたい者で行いたい者の組織化を図り、会員相互による活動の促進のため利用された方への助成を行いました。

・依頼件数：52件、活動回数：105回

〈老人福祉費〉

(担当：保健福祉課福祉グループ・養護老人ホーム長寿園総務グループ)

敬老会開催事業 **決算額 1,157千円(1,315千円)**

75歳以上の高齢者(374人)を対象に町民センターで敬老会を開催し、喜寿の記念品と敬老祝い品を贈呈しました。

高齢者事業団運営補助事業 **決算額 500千円(500千円)**

高齢者事業団の運営に係る高齢者事業団開拓員活動事業に対し助成しました。

高齢者等スポーツレクリエーション大会開催事業 **決算額 0千円(74千円)**

町内に居住する高齢者及び障がい者の福祉活動の一環として開催していましたが、令和6年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

除雪サービス事業 **決算額 1,350千円(1,350千円)**

一人暮らしのお年寄りや、お年寄りだけの世帯で、積雪による外出の不安や冬期間の生活環境支援のために、除雪に係る労力を確保できないと認める世帯に対して、積雪時に玄関前等住宅周辺の除雪を行いました。

この事業は、社会福祉協議会に委託して実施しています。

中頓別町入浴料助成事業 **決算額 849千円(1,116千円)**

町内に住んでいる70歳以上のお年寄りや障がい者等の憩いの場の提供と心身の健康増進のため、ピンネシリ温泉と黄金湯の入浴券を101名に交付しました。利用者は延3,844名でした。

老人クラブ連合会運営補助事業 **決算額 319千円(319千円)**

老人クラブ連合会の運営に係る経費の一部を助成しました。

養護老人ホーム入所事業 決算額 55,120千円(57,096千円)

町内外の老人ホームに入所している方の入所費用を支出しています。入所者本人と扶養義務者は所得に応じた費用負担があります。

8月1日現在の入所者数は、町内の施設(長寿園)に24名、町外の施設に1名入所しています。

老人福祉事業 決算額 15,778千円(27,016千円)

後期高齢者医療広域連合療養給付費市町村負担金等を支出しました。

療養給付費市町村負担金については、被保険者数及び給付費見込みを市町村ごとに算出しています。また、介護医療院へ入所される利用者に対し、利用者負担の軽減措置のため費用の助成を行いました。

後期高齢者見舞金助成事業 決算額 3,331千円(4,692千円)

後期高齢者に対し医療に要する経費の一部を助成することにより、医療費の負担を軽減し、地域で安心して生活できるように後期高齢者の福祉の増進を図ります。

見舞金の額は医療機関等に支払った医療費等のうち月額2千円以内を助成するものです。

令和6年度は対象者数394名、申請件数は延1,807件でした。

病院患者送迎サービス事業 決算額 1,223千円(1,311千円)

高齢者や通院が困難な方を市街地を除く町内全地域を対象に週3回行っている病院患者送迎サービスの諸経費を支出しました。

令和6年度の利用者は53名でした。

居宅介護支援事業所運営費助成事業 決算額 1,500千円(1,500千円)

令和2年度より社会福祉法人の居宅介護支援事業所を廃止し、新たに国保病院内に居宅介護支援事業所を開設されたことに伴い運営費の一部を助成しました。

養護老人ホーム運営事業 決算額 60,050千円(68,461千円)

令和6年度より、社会福祉法人から町に移管した、老人福祉施設運営事業です。令和6年度より施設定員数を50名から30名に減少しています。また、特定施設入所者生活介護(外部サービス型)の指定を受け、入所している要支援者・要介護者に対し、介護サービスの提供を行っています。

〈国民年金費〉

(担当：総務課住民グループ)

国民年金事務事業 決算額 11千円(11千円)

法令に基づき、市町村が行わなければならない照会業務等に要した経費です。

〈障害者福祉費〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

障害者医療費給付事業 決算額 2,208千円(2,242千円)

身体に障がいがある方の身体的負担(人工透析や人工関節等)を軽減したりすることで、

日常生活が容易になるように行われる医学的処置、薬剤、治療、材料等の給付を行う医療費の一部を助成しました。令和6年度は304件に助成しました。

障害者総合支援給付事業 決算額 108,636千円(111,283千円)

障害者自立支援法の施行に伴い、障がい者の日常活動、居住系サービス、児童デイサービスといった障がい福祉サービス費の負担です。

現在、サービスを利用している方々は生活介護13名、施設入所10名、共同生活援助（グループホーム）11名、就労継続支援（B型）8名となっています。

障害者福祉事業 決算額 0千円(9千円)

障がい者福祉事業に要する事務費等諸経費の支出を行うものです。令和6年度は実績がありませんでした。

地域生活支援事業 決算額 5,439千円(6,209千円)

障がい者（児）が、安心して暮らすことのできる地域社会の実現、自立した日常生活又は社会生活を営むことができることを目的として日常生活用具8件の給付、障がい者等を雇用している2事業者（2事業場：対象就労者数4人）に助成金を交付しました。

〈重度心身障害者特別対策費〉

（担当：保健福祉課福祉グループ）

重度心身障害者医療給付事業 決算額 5,657千円(6,789千円)

心臓、腎臓、呼吸器、膀胱、直腸、小腸、免疫若しくは肝臓の機能障がいである1級から3級の障がい者に該当している方等の医療費の一部を助成しました。

〈地域福祉対策事業費〉

（担当：保健福祉課福祉グループ）

緊急通報システム事業 決算額 679千円(850千円)

ひとり暮らしのお年寄りや身体の不自由な方等の増え続ける独居世帯者の安心を確保するため、緊急通報システム端末の貸与を行いました。

令和6年度末現在、安全センター11戸、健康づくり財団5戸の設置となっています。

福祉ハイヤー助成事業 決算額 2,618千円(3,240千円)

重度肢体不自由者等、70歳以上の高齢者（一部制限があります）の通院等が容易になるようにタクシーチケット（1枚520円）を支給します。交付枚数は重度肢体不自由者等及び高齢者には年間48枚、自家用車を所有している方の配偶者（70歳以上）は年間24枚交付しました。また、年度途中での交付該当者は年間交付枚数を月割で交付しています。

令和6年度は158名の申請に対し6,888枚を交付し、利用枚数は4,426枚（利用率は64.3%）でした。

〈介護福祉センター費〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

介護福祉センター管理事業 **決算額 6,152千円(7,252千円)**

介護福祉センター及び保健センターの光熱水費等、施設の維持管理に係る経費です。

〈次世代育成支援対策費〉

(担当：認定こども園)

次世代育成支援対策事業 **決算額 520千円(547千円)**

未来を担う子ども達のため、地域に開かれた認定こども園として積極的に老人福祉施設やお年寄りとの世代間交流を取り入れることで、豊かな人間性を身につけることを目的として世代間交流を行ってきました。また、町内の子ども達の健やかな成長ぶりを見守り、小学校・中学校・高校（町内在住の高校生）との交流をもつことによって、社会性や協調性を養うことを目的として異年齢児交流会を行いました。

事業名	交流区分	内 容	参加人数
保育所地域活動事業（世代間交流） （異年齢児交流）	世/異	こども園花壇づくり	20名
	世/異	運動会	130名
	世/異	パワーチャージパレード	70名
	世	地域参観日	69名
	世/異	人形劇観劇	79名
	異	夏休みボランティア体験	7名
	異	健康支援体操	58名
	異	放課後交流	2名

〈介護予防費〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

介護予防事業 **決算額 598千円(600千円)**

介護保険法に基づき、介護予防支援サービス（予防ケアプランの作成、サービス事業者との連絡調整等）を行うための経費を支出しました。

〈低所得者支援等給付金事業〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

低所得者支援等給付金事業 **決算額 12,925千円(25,977千円)**

※（ ）のうち、11,320千円は、令和7年度への繰越明許費です。

原油価格・物価高騰対策のため、令和6年度に新たに住民税非課税、住民税均等割のみ課税となる世帯（こども加算含む）及び定額減税しきれないと見込まれる方を対象として給付金を支給しました。

〈子ども医療費〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

子ども医療費助成事業 決算額 4,969千円(5,028千円)

満18歳までの子ども達に対し医療費の無料化を図り、疾病の早期診断と早期治療を促進し、子ども達の保健の向上と福祉の増進、子育て世代家庭の経済的負担の軽減を図っています。

〈児童措置費〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

児童手当支給事業 決算額 17,967千円(18,398千円)

児童を養育している方に手当を支給することにより家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的として以下の基本額(月額)を支給しました。

○令和6年4月～令和6年9月(4ヶ月に1回支給)

- | | |
|-------------------|------|
| ・3歳未満 | 15千円 |
| ・3歳から小学校終了前の第2子まで | 10千円 |
| ・3歳から小学校終了前の第3子以降 | 15千円 |
| ・中学校終了前 | 10千円 |
| ・特例給付 | 5千円 |

○令和6年10月～令和7年3月(2ヶ月に1回支給)

- | | |
|----------------------|------|
| ・3歳未満 | 15千円 |
| ・3歳から18歳到達後の最初の年度末まで | 10千円 |
| ・第3子以降 | 30千円 |

障がい児生活支援事業 決算額 1,271千円(1,358千円)

南宗谷子ども通園センター負担金を支出しました。

〈ひとり親家庭等児童特別対策費〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

ひとり親家庭等医療給付事業 決算額 91千円(106千円)

ひとり親家庭等の健康の保持を図るため、医療費の一部を助成しました。

〈認定こども園費〉

(担当：認定こども園)

認定こども園事業 決算額 24,448千円(30,515千円)

小学校就学前の子どもを対象とし、一人ひとりの子どもの状況や発達過程を踏まえ、地域の実情に応じた創意工夫のある教育及び保育を一体的に提供してきました。また、乳幼児期に必要な「脳」や「体」への刺激が園庭遊びによって多様に得られ、子どもの全体的な発達

に大いに寄与できる園庭整備事業を進めています。令和4年度から令和6年度の3ヶ年で行いました。令和6年度は園庭の整地及び一部の遊具設置を行いました。

- ・園庭整備工事 12,430千円

〈地域子育て支援費〉

(担当：認定こども園)

地域子育て支援事業

決算額 567千円(917千円)

すべての子育て家庭、妊産婦を対象に親子の集いの場の提供や子育てに関する情報提供及び相談事業を行いました。

- ・講演会(年1回)
- ・講座(年6回)
- ・遊びの広場(月1回～2回)
- ・自由開放日(月14回程度)
- ・子育てサロン(月1回)
- ・子育て相談事業(随時)

〈放課後児童健全育成費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

放課後児童健全育成事業

決算額 8,317千円(8,606千円)

就労等により、昼間保護者が家庭にいない小学生を対象として、家庭的機能の補完をしながら、学習及び運動等の場を提供することによって、一人ひとりが安心して楽しく過ごしながら、健やかで心豊かな子どもに成長するような健全育成を目指しました。

〈こども包括支援費〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

子ども・子育て支援事業

決算額 3,202千円(4,512千円)

地域の子育て支援の充実のための事業で、出生時の体重が2,000g以下又は身体の発育が未熟のまま出生した子どもで、指定医療機関へ入院し、養育を行う必要のある子どもに対して医療費の一部を助成するものとなりますが、令和6年度は対象者はいませんでした。また、子ども・子育て支援法第61条において、市町村は、国が示す基本指針に即した子ども・子育て支援事業計画を定めるものとされており、本町では令和7年度を始期とする第三期の計画を策定しました。

ファミリーサポートセンター事業 **決算額 1,340千円(1,725千円)**

育児の援助を行いたい者と育児の援助を受けたい者からなる事業であり、会員相互の活動に関する連絡調整を実施しました。

妊産婦安心出産支援事業 **決算額 172千円(843千円)**

安心して子育てができる環境を整備し、妊産婦の健康診査や出産に係る交通費等の助成を

しました。

子育て世代包括支援センター事業 決算額 1,539千円(2,573千円)

愛称を「なかとんネウボラ」とし、助産師・保健師による地域の特性に応じた妊産期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行いました。助産師を正職員採用し、のびのびルームにのびのび支援員を配置する等、子育ての支援体制の強化を進めました。また、子どもの誕生を町ぐるみで祝い、町が手作りの椅子をプレゼントするという「君の椅子」プロジェクトの講演会を開催、参加者からの要望が多かったこともあり、プロジェクトに参加する運びとなりました。

○「君の椅子」プロジェクト関連費用

- | | |
|-------------------|-------|
| ・君の椅子広域連携実行委員会負担金 | 250千円 |
| ・君の椅子贈呈用(6脚) | 300千円 |

〈こどもセンター費〉

(担当：保健福祉課福祉グループ)

こどもセンター事業 決算額 728千円(980千円)

学校の放課後や夏休み等の長期休暇中、障がいのあるなしに関わらず児童の居場所づくりを行い、健全な遊びを通して子どもの心身の健康を増進し、子どもたちの能力の発達を援助してきました。

衛生費

〈予防費〉

(担当：保健福祉課保健グループ)

感染症予防事業 決算額 84千円(114千円)

北海道エキノコックス症対策実施要領に基づくエキノコックス検診を行い、早期発見・早期治療のための諸対策を講じました。従来行ってきた65歳以上の結核検診は肺がん検診として実施しました。エキノコックス検診は小学3年生以上の方を対象に実施し、小学3年生及び中学2年生に個別案内を行い8名が受診しました。

保健予防事業 決算額 4,427千円(4,808千円)

保健予防全体に係わる事業(会議・研修・車両維持・システムの更新等)を円滑に推進しました。

○システム保守委託料

- | | |
|---------------|---------|
| ・健康管理システム保守委託 | 1,926千円 |
|---------------|---------|

○システム改修委託料

- | | |
|-----------------|-------|
| ・健康管理システム改修業務委託 | 444千円 |
|-----------------|-------|

予防接種事業

決算額 5,781千円(6,222千円)

予防接種法に基づき、定期の予防接種（ＢＣＧ、不活化ポリオ、二種混合、四種混合、麻しん風しん、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、65歳以上の方のインフルエンザ、65歳以上の肺炎球菌（定期対象者））、日本脳炎、Ｂ型肝炎、ヒトパピローマウイルスワクチンを医療機関に委託し実施しました。また、任意の予防接種（65歳未満の方のインフルエンザ、65歳以上の方の肺炎球菌（定期対象以外））を受ける方に費用の一部を助成しました。成人男性を対象とした風疹対策事業を行いました。

新型コロナウイルスワクチン接種事業

決算額 4,144千円(4,416千円)

新型コロナウイルス感染症に係るワクチンについては、特例臨時接種が令和5年度で終了し、令和6年度以降は季節性インフルエンザと同様のＢ類疾病の定期接種と位置づけられました。定期、任意接種とも希望者全員がワクチンを接種できる体制を整備しました。また、コールセンターの設置を継続し、個別の相談にも対応しました。

〈母子衛生費〉

（担当：保健福祉課保健グループ）

母子健康相談健康教育事業

決算額 82千円(124千円)

妊婦・乳幼児の健康相談、栄養相談、健康教育事業を実施し、安心して子どもを生み育てることができるように支援しました。

母子健診事業

決算額 1,787千円(2,231千円)

母性と乳幼児の健康の保持増進を図ることを目的として、妊産婦の健康診査及び交通費等に対する助成、乳児健診、1歳6ヶ月児健診、3歳児健診を行いました。さらに精密検査が必要な方には費用の一部を助成しました。新生児聴覚検査、産後ケア事業にかかる費用を助成しました。

母子歯科保健事業

決算額 181千円(208千円)

乳幼児等の虫歯予防のため、歯科医師による健診、歯科衛生士によるフッ素塗布・歯科指導、保健師・栄養士による相談等を3回実施し、延べ78名の利用がありました。

不妊治療費助成事業

決算額 159千円(284千円)

不妊治療により妊娠を希望されるご夫婦の経済的負担を軽減することを目的として、治療に係る医療費及び交通費について助成する制度で、令和6年度は1件の申請があり助成しました。

出産・子育て応援事業

決算額 450千円(1,688千円)

※（ ）のうち、1,188千円は、令和7年度への繰越明許費です。

妊娠の届出や出生の届出を行った妊婦・子育て世帯等に対し、出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図ることを目的として、出産・子育て応援給付金を対象者9名に支給しました。

〈環境衛生費〉

(担当：総務課住民グループ)

環境衛生事業 **決算額 123,027千円(139,598千円)**

※()のうち、12,322千円は令和7年度への繰越明許費です。

廃棄物の処理量は人口減少に伴い、減少傾向な状況にありますが近年家屋解体に伴う一般廃棄物が増加しております。分別に係る苦情もありますが、都度 確認を行い、指導や旬報による周知を行ってきております。ごみの減量化に向けたなかとんリユースは、希望者がなく実施実績はありませんが、制度として継続していく必要があると考え、また、小型家電及び古着のリサイクル品の受入れも継続して実施しております。

鳥獣捕獲に係り鳥類の処理件数は6件、その他要望・苦情処理が14件、ハチ駆除は12件でした。

狂犬病予防注射は67頭実施しております。また、不法投棄、野外焼却は0件でありました。公衆浴場補助金は例年のどおりに継続しており、合併浄化槽の設置はありませんでした。

環境保全活動推進事業 **決算額 1,744千円(1,757千円)**

クリーン作戦に関しては29団体、延べ390名のご協力のもと行うことができました。特定外来生物であるオオハンゴンソウの防除はアクションプランを策定しており住宅付近の防除を実施しています。

淡水魚の生息調査に関してはガイドサービスTEKUTEKUに委託して実施しております。令和6年度は頓別川水系の現状を知ってもらうため、自然学校付近の川沿いで釣り体験を行い生息状況学習会を実施しました。地球温暖化対策としては電気自動車(EV車)への充電設備を設置しており、役場庁舎太陽光発電システムと連動した運用を行っております。

〈墓地火葬場費〉

(担当：総務課住民グループ)

墓地火葬場維持管理事業 **決算額 2,128千円(2,425千円)**

町内に設置されている5ヶ所の墓地と火葬場1ヶ所の維持管理に要した経費であります。

〈病院費〉

(担当：政策経営課政策経営グループ・保健福祉課保健グループ)

国民健康保険病院事業運営補助事業

決算額 292,973千円(295,748千円)

中頓別町国民健康保険病院の運営に対する補助金を支出しました。

第2次救急医療事業 **決算額 1,274千円(1,274千円)**

中心都市宣言(定住自立圏構想推進要綱第4に規定)を行った「名寄市及び士別市」との相互に役割を分担し連携しながら取り組む、上川北部地域広域第2次救急医療事業に係る経費です。

〈診療所費〉

(担当：保健福祉課保健グループ)

歯科診療所運営事業 **決算額 8,745千円(9,008千円)**

歯科診療所の施設整備及び備品修繕を行い、充実した地域の歯科保健、歯科診療ができるように支援しました。

〈地域保健対策費〉

(担当：保健福祉課保健グループ)

地区組織活動事業 **決算額 288千円(426千円)**

各地区から選ばれた保健推進員とともに健康づくりに取り組みました。

1年間の保健事業を掲載した健康カレンダーを全戸配布しました。

〈健康増進費〉

(担当：保健福祉課保健グループ)

がん検診事業 **決算額 1,820千円(1,841千円)**

各がん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、子宮がん、乳がん）を実施し、がん患者を早期発見・早期治療に結びつくように援助しました。

乳がん検診・子宮頸がん検診については特定の年齢の方に検診の個別勧奨を行うとともに、検診を無料で受けられるクーポン券を発行しました。

各種がん検診の受診者数は胃がん検診43名、肺がん検診69名、大腸がん検診67名、子宮頸がん検診39名、乳がん検診45名でした。

健康教育事業 **決算額 1,271千円(1,330千円)**

各地区等での健康相談や健康教室等を通して、より健康的な生活が継続できるように支援を行いました。健康増進法に基づく40～64歳の健康教育は55回（220名）の参加がありました。健康相談は21回（60名）の参加がありました。その他、保健師、栄養士は随時家庭訪問を行いました。

健康診査事業 **決算額 513千円(571千円)**

健康増進法に基づく健康増進事業（骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検診）のほか、同法施行規則に定める健康診査及び保健指導（医療保険者が行う特定健診等の対象以外の方）を実施しました。個別の健診結果をもとに生活習慣病予防や改善に向けた支援を行いました。

歯科保健事業 **決算額 661千円(670千円)**

80歳で20本の歯を保つことでさらに豊かな生活ができるように生涯を通した歯の健康づくりを推進します。特定健診等とあわせて8020さわやか健診を行いました。幼児・児童・生徒にブラッシング指導を行い、虫歯予防ができるように支援しました。

健康増進事務事業 **決算額 72千円(249千円)**

健康増進法に基づく事業（会議・研修・車両維持等）を円滑に推進しました。

後期高齢保健事業

決算額 1, 232千円(1, 401千円)

後期高齢者医療保険に加入されている方の糖尿病等生活習慣病の重症化予防と心身の機能の低下予防のため、健康診査・保健指導・健康教育等を行いました。医療受診者訪問事業や歯科健康診査等の新たな取り組みも継続して行っています。

〈上下水道費〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

水道事業運営補助事業

決算額 102, 331千円(115, 741千円)

中頓別町水道事業に対する補助金を支出しました。

労働費

〈労働諸費〉

(担当：産業課商工労働・観光まちづくりグループ)

稚内雇用対策協議会関係事業

決算額 59千円(66千円)

雇用対策に係る諸会議への参加や通年雇用化に向けた助成事業等を推進する稚内地方通年雇用促進協議会に加入し、雇用対策の円滑な推進を図りました。

・稚内地方通年雇用促進協議会負担金 58千円

くらしとしごとの相談窓口事業

決算額 8, 635千円(9, 086千円)

移住検討者に向けた情報発信や移住関連の問い合わせにワンストップで対応する事業です。加えて、自治体版ハローワークや特定地域づくり事業協同組合の運営を実施しています。特定地域づくり事業協同組合の運営に関わる事務を担当する会計年度任用職員の報酬や職員手当等、特定地域づくり事業協同組合運営助成金を支出しました。

・報酬 1, 711千円
・職員手当等 612千円
・特定地域づくり事業協同組合運営助成金 6, 296千円

農林水産業費

〈農業委員会費〉

(担当：農業委員会事務局)

農業委員会活動促進事業

決算額 2, 110千円(2, 140千円)

農業委員会等に関する法律に規定する事項に係る法令事務及び中頓別町農業委員会に対する事務委任に関する規則に基づく事務(農地の所有権移転・賃貸借や転用等)の執行を行いました。また、広報活動やホームページを通じて農業委員会の情報提供を行うとともに、農

業者の意見を聞きながら事務を進めました。

■委員に関する経費

●委員の報酬	1, 638千円
●総会や研修会等の費用弁償	331千円

■事務的経費

●書籍購入費、車両燃料代	21千円
●タブレット端末に要する経費	19千円
●北海道農業会議への負担金	100千円

【参考】

・総会開催回数	5回
・農地等流動化実績	所有権移転 8件（78筆） 賃貸借 14件（200筆） 合計306.67ha

機構集積支援事業

決算額 229千円（245千円）

農地パトロール時における農地の利用状況調査や耕作放棄地全体調査を通じて遊休農地や耕作放棄地の防止・解消を図りました。

■事務的経費：調査図面制作消耗品等	228千円
-------------------	-------

農業担い手対策事業

決算額 30千円（30千円）

農業経営の継続を促進するため、宗谷農村パートナー対策協議会が開催するイベントへの参加呼びかけを行いました。残念ながら参加者がいませんでした。今後も農業後継者や経営者に対してパートナーとの出会いの場の情報提供や交流会等の取り組みを進めて参ります。

■事務的経費：農村パートナー対策負担金	30千円
---------------------	------

〈農業振興費〉

（担当：産業課産業グループ）

中頓別町農業体験交流施設（食彩工房「もうもう」、体験農園「オガル」）

管理運営事業

決算額 7,796千円（7,796千円）

中頓別町農業体験交流施設の施設管理運営費です。

○中頓別町農業体験交流施設指定管理料	7,739千円
○中頓別町農業体験交流施設修繕料	56千円

認定農業者支援事業

決算額 9千円（9千円）

本町農業の中核的な担い手として経営規模の拡大や集約化、複合化等によって、魅力ある経営実践を目指す意欲ある農業者を「認定農業者」として町長が認定し、設備投資等の資金借り入れに対する利子補給等の支援を行いました。

○農業経営基盤強化資金利子助成事業

法律に基づいて、積極的な経営を展開する認定農業者が借り入れた「農業経営基盤強化資金（通称：L資金）」に対する利子の助成を行いました。

農業振興事業 **決算額 6,651千円(6,836千円)**

農業行政の推進のため、農用地域の管理、農業振興地域整備計画の策定・管理、農業担い手対策の推進、農業関係制度資金等に係る事業を実施しました。

中山間地域等直接支払交付金交付事業

決算額 39,159千円(39,184千円)

農業者が現在耕作している農地の面積に応じて、農業者が主体となり組織された中山間地域等直接支払制度推進協議会に対して国費・道費・町費より交付金を交付しました。

中頓別町農業担い手育成事業

決算額 840千円(957千円)

本町で新たに就農された経営者に対する支援等を行ったほか、本町での新規就農を希望する酪農研修生の受入れに対して支援を行いました。

多面的機能支払事業

決算額 3,530千円(3,530千円)

農業者が現在耕作している草地・畑の面積に応じて、農業者が主体となり組織された推進協議会に対して国費・道費・町費より交付金が交付され、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に支援を行い、農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理を図りました。

6次産業化推進事業

決算額 9,817千円(10,153千円)

平成28年度から製造を開始している『なかとん牛乳』の提供農場に対する協力金や平成29年度より試験栽培を開始した醸造用ぶどうの苗木や栽培資材等の購入、栽培管理に係る業務委託等を行い、本町の新たな特産品の開発に向けた取り組みを行いました。

酪農振興支援事業

決算額 1,000千円(1,000千円)

町内の酪農家戸数は年々減少を続けており、地域の生産力も減少している状況にあることから、乳牛の飼養施設等の整備・改修等に対して助成を行い、個々の生産力の向上を図ることを目的とした事業で、令和6年度では経営継承祝い金として1件の助成を行いました。

ミルクプラント運営事業

決算額 10,079千円(11,426千円)

平成28年度より製造を開始した『なかとん牛乳』の製造等に係る経費で、作業員の人件費や生乳等の原材料費等の経費を支出しています。なお、『なかとん牛乳』は町内商店での販売を主体に、札幌市での販売のほか、学校給食への提供やふるさと納税の返礼品として活用しています。

○ミルクプラント運営業務委託料

9,100千円

○ミルクプラント車庫移設工事

979千円

〈畜産業費〉

(担当：産業課産業グループ)

各種制度資金利子補給事業

決算額 284千円(285千円)

酪農経営において累増した負債により、経営悪化が余儀なくされている農家に対して積極的に農業経営の改善を図ろうとする者が必要とする資金の借り入れに対し生ずる利子の一部を負担軽減措置として利子補給を行いました。

循環農業支援センター管理事業 決算額 4,840千円(4,885千円)

当該施設を利用組合に無償貸付していますが、施設管理上最低限必要な経費（設備機械の維持管理費用や作業車両の定期点検費等）及び施設・設備機械の修繕費を負担しました。

- ・作業車両修繕料 1,068千円
- ・機械設備等定期点検費 2,305千円
- ・設備等修繕費 1,203千円

地域交流事業 決算額 200千円(200千円)

農業者と地域の消費者との交流を図り、酪農畜産業への理解を深めることを目的として開催された『中頓別町酪農祭』に対して開催経費の助成を行いました。

畜産振興事業 決算額 5,021千円(5,130千円)

畜産行政の振興を図るため、畜産関係計画の策定及び管理、家畜衛生対策、家畜糞尿等畜産環境対策に要する業務を執り行いました。

中頓別町営牧場運営事業 決算額 44,602千円(44,612千円)

乳用牛の育成部門における飼養労働力の軽減と適期受胎による生産性の向上を図るため適正な運営を行いました。

○町営（弥生・神崎）牧場運営業務委託事業

- ・利用料 1頭1日あたり200円
- ・受託期間 5月下旬から10月中旬
- ・管理運営業務委託料 9,735千円
- ・水道給水管移設工事 15,067千円
- ・電気牧柵設置工事 19,800千円

中頓別町乳牛検定組合運営事業 決算額 450千円(450千円)

乳牛の資質向上と経営の合理化を推進するため乳牛群の能力検定を実施し、生産性の向上等酪農経営の体質強化を図ることを目的として活動している団体の運営費の一部を補助しました。

中頓別町酪農ヘルパー利用組合運営事業

決算額 5,000千円(5,000千円)

酪農家の家族の休養・研修・旅行等での完全休日の取得の推進と経営者及び家族の疾病時の緊急対策としてのヘルパー制度の活用等により、経営の安定と生活の向上に資するための事業に対し組合運営費の一部を補助しました。

乳牛共進会関連事業 決算額 150千円(150千円)

乳牛改良の経過や今後の方向性について比較検討を行うために開催される乳牛共進会ですが、令和6年度は地域から選抜された乳用牛が道北共進会へ出場し、その中で上位入賞を果たした町内の乳用牛が全道共進会へと出場したことから、出場に係る経費の一部を助成しました。

草地整備型公共牧場整備事業

決算額 55,618千円(57,264千円)

飼料基盤の整備による酪農経営の安定化の推進と併せて、公共牧場の機能強化として哺育育成預託施設の整備を進めました。

令和6年度実施状況

- ・事業実施内容 草地整備改良43.8ha、乳用育成牛預託育成施設(看視舎、集草庫)

〈有害鳥獣対策費〉

(担当：産業課産業グループ)

有害鳥獣対策事業

決算額 22,683千円(23,421千円)

傷病等野生鳥獣の保護収容等に係る取扱い指針に基づき、野外で負傷・疾病した野生鳥獣の保護・収容及びへい死体の処理を行うほか、野生鳥獣による農林業・生活環境被害の緩和及び防止のため、関連機関と協力して駆除等を実施しました。エゾシカについては834頭を駆除したほか、近年出没が増加傾向にあり、全道的にも人畜への被害が懸念されているヒグマについては4頭を捕獲し、主に有害鳥獣等処理施設において減容化処理しました。

また、狩猟者の高齢化や減少が危惧されていることから、新たに猟銃免状を取得された捕獲従事者に対する支援など若手狩猟者の育成支援を行いました。

- | | |
|------------------------|----------|
| ・有害鳥獣報償費(エゾシカ834頭、熊4頭) | 10,822千円 |
| ・有害鳥獣捕獲業務等委託料 | 564千円 |
| ・有害鳥獣回収処理業務委託料 | 2,370千円 |
| ・有害鳥獣等処理施設管理委託料 | 8,406千円 |
| ・猟銃免状取得補助金(2名分) | 219千円 |
| ・備品購入費(アライグマ用はこ罠4台) | 113千円 |
| ・その他(消耗品、燃料費、旅費等) | 189千円 |

〈農業者年金費〉

(担当：農業委員会事務局)

農業者年金委託事務事業

決算額 30千円(51千円)

農業者の老後生活の安定を図るため、農業者年金基金からの委託事務として農業者年金への加入促進、受給者への支給手続き等の業務を実施しました。

- 事務的経費：郵便料等 30千円

【参 考】令和6年度末現在

- ・受給権者数 100人、待機者数 22人
- ・新規加入者数 0人

〈林業振興費〉

(担当：産業課産業グループ)

森林管理事業 決算額 11,092千円(11,141千円)

町有林の森林保険料等の管理経費及び民有林の伐採届、森林火災予防の対策費等に要する経費の支出、また、その他に旧鉄道林において立木の枯損や腐朽等が見受けられた敏音知・小頓別地区の皆伐工事を行いました。

○皆伐工事 敏音知・小頓別地区 事業費 8,330千円 事業量 2.85ha

森林環境保全直接支援事業 決算額 18,150千円(18,150千円)

森林の有する多面的な機能の持続的な発揮を図ることを目的として、町有林の育成のために各種事業(下刈り、間伐、造林、更新伐)を実施しました。

○下刈事業 弥生・上駒・神崎地区 事業量 23.60ha

・事業費 3,300千円(補助金2,282千円)

○間伐事業 栄地区 事業量 9.80ha

・事業費 3,520千円(補助金2,393千円)

○造林事業 敏音知・小頓別地区 事業量 2.16ha

・事業費 2,200千円(補助金1,520千円)

○更新伐事業 豊泉地区 事業量 13.11ha

・事業費 9,130千円

＜用語の解説＞

下刈：植栽木周辺の、雑草(笹・草等)の除去を行う。(標準：植栽後9年間)

間伐：適正な密度で森林を管理するため、利用できる大きさに達した立木を間引くための伐採を行う。(標準：林齢30年生以降 間伐実施樹種：トドマツ)

造林：無立木地(原野)の解消を図るため植栽を行う。

更新伐：主に天然林の更新を目的とした施業、持続可能な形で木材の収穫を目指す。

森林保護事業 決算額 232千円(233千円)

町有林の保護及び育成を目的として、幼齢林の野ねずみによる被害の未然防止のため植栽後9年間の林小班への野ねずみ駆除剤(リンカS1)の空中散布を実施しました。

中頓別町民有林森林整備振興事業 決算額 1,972千円(1,972千円)

町内における民有林森林整備事業の推進を円滑に進めるために要する経費の一部を助成し、伐採跡地等の荒廃を防ぎ、森林の健全な育成を行うことにより森林の公益的機能の向上及び林業の振興が図られました。

・造林A=18.32ha、下刈A=162.41ha

豊かな森づくり推進事業 決算額 4,896千円(4,896千円)

本町内に所有する民有林について、森林としての機能の活性化を図るとともに、森林資源の充実、森林の有する公益的機能の高度発揮を目的として、造林の標準経費(実行経費)に対して町が100分の26を補助しました。

森林整備担い手対策推進事業

決算額 45千円(45千円)

森林労働者の就労の長期化、安定化を促進し、林業労働力の確保に資するため、森林作業員、事業主、町及び道が一定の掛け金を負担し、就業日数が140日以上ある森林作業員に奨励金を支給するものです。令和6年度は2名分を負担しました。

森林整備・林業振興事業

決算額 16,252千円(19,108千円)

温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るため、森林環境譲与税を活用し、間伐・除伐や人材育成・担い手の確保対策、木材利用の促進や普及啓発等、森林整備及びその促進に関する施策を推進しました。

○森林整備促進対策

417千円

私有林等整備のため冬期間の森林調査及び検査を行うためスノーシューを購入。

北の森づくり専門学院生の就学支援など本道の林業・木材生産の時代を担う人材の育成を目的に設立された北海道林業・木材産業人材育成支援協議会及びスマート林業推進を目的としてスマートEZOモデル構築協議会に賛助会員として活動を支援しました。その他林務担当者の研修旅費に支出を行いました。

・中頓別町私有林等整備事業

63千円

・森林担い手育成対策

354千円

○森林経営管理推進対策

0千円

森林経営管理制度による私有林人工林の森林所有者に対し、自らによる経営管理の意向確認を行い、所有者に対する経営管理への支援を行うもので、今年度については対象者の照査のみだったことから経費が必要となりませんでした。

○林業・木材産業成長産業化促進対策

15,790千円

役場庁舎町民ホールの木質化に向け本格的に家具等の製作を実施。椅子張替16脚、パーテーション4台、相談カウンター9台、グラフィックボード3枚、荷物台2台、出納スクリーン1式、町長副町長サイン、吊りサイン5個、卓上サイン1か所、ピクチャーレール施工1式を製作しました。

また、本町から産出される木材を活用して、学校建設の一部に利用することにより、生徒や先生等に森林整備の大切さや地元材の利用推進の理解を深めてもらい、木育も含めて学校教育への理解の醸成を図る目的として、本年度は使用木材の伐採搬出・製材、乾燥を進めるため準備に対して委託を行いました。

・公共施設の木造化・木質化(役場町民ホール)

13,810千円

・中頓別学園の町産材木材利用委託事業

1,980千円

○木育・木づかい推進対策

45千円

既存の学校机に取り付けられている天板を町産材を用いて製作した天板に交換することを行っており本年度については、天板用ネームプレート10枚を製作しました。

・中頓別町天板交換プロジェクト

45千円

・ぬくもりのハンドメイド積み木教室

0千円

・木のおもちゃまつり

0千円

〈林道費〉

(担当：産業課産業グループ)

林道管理事業 決算額 3,452千円(3,461千円)

中頓別町で管理している林道施設の維持補修及び管理業務を行いました。

道営林道事業 決算額 21,166千円(21,166千円)

森林の生産性の悪化により林業生産活動が停滞しており、計画的な森林整備や作業の機械化の効率化が求められています。森林管理道整備により木材の運搬の効率の向上や作業道と適切な組み合わせにより森林整備の促進と森林経営の安定化を促進しました。

○道営森林管理道松鷹線開設事業

(事業期間 平成24年度～令和7年度)

・事業費 21,165千円

(国負担分 42,332千円 道負担分 21,166千円 町負担分 21,165千円)

・事業内容 開設工事 延長=627m、幅4.0m

・施工場所 松音知橋から南に250mとして山林側へ約840m

林業専用道上頓別線開設事業 決算額 34,982千円(35,100千円)

本地区は排水路や草地等に囲まれ、森林整備を行うには立地条件として悪く、手入れが行き渡らず山林の衰退が見受けられている。また、森林所有者の高齢化等により町への寄付山林があり、無立木地が目立ち造林が必要となっています。

林業専用道の整備により計画的な施業が可能となることから、森林整備の推進や所有者の施業意欲の向上が図られ、地域材の利用の拡大に繋がり、併せて森林整備事業者等への安定的な雇用確保にも繋げるため、工事及び測量設計調査を実施しました。

○林業専用道上頓別線開設事業

(事業期間 令和5年度～令和12年度予定)

・事業費 34,982千円

(国負担分 17,491千円 道負担分 350千円 町負担分 17,141千円)

・事業内容 開設工事 延長=280m 幅4.0m 測量設計 L=360m

・施工場所 上頓別地区の町道に架かる平野橋から約1.5km南西方向を起点とした山林内で実施しました。

幹線林道弥生線改良事業 決算額 55,644千円(57,000千円)

鍾乳洞周辺において、平成14年度から平成18年度の5ヶ年で散策路や木道等の整備を行いました。その後、施設の経年劣化に伴い散策路や木製階段、木柵等の損傷がひどく、観光客等への安全性を確保することが困難な状況のため、改修する必要があり工事及び測量設計の調査を実施しました。

○幹線林道弥生線改良事業

(事業期間 令和5年度～令和8年度予定)

・事業費 55,644千円

(国負担分 27,822千円 道負担分 556千円 町負担分 27,266千円)

- ・事業内容 改良工事（湿地ルート等） 延長＝369m、測量設計＝886m
- ・施工場所 中頓別鍾乳洞ふれあい公園

商工費

〈商工総務費〉

（担当：産業課商工労働・観光まちづくりグループ）

商工業振興対策推進事業 決算額 15,699千円（33,756千円）

商工業の振興と地域経済基盤の安定を図るための取り組みに要する経費です

平成28年度から商工業者の事業拡大や設備の整備改修、後継者への事業継承を円滑に進めることを目的として商工業振興支援補助金制度（令和8年3月まで）による支援を行っています。

- ・商工業振興支援補助（施設設備改修等6件） 8,346千円
- ・商工業事業継承者支援助成金（1件） 1,750千円
- ・プレミアム商品券発行事業補助金 5,589千円

中頓別町商工会補助事業 決算額 5,210千円（6,880千円）

商工業の振興と地域経済基盤の安定を図ることを目的として、その指導的役割を担う中頓別町商工会に対して経営改善普及事業に係る経費の一部を助成しました。

中頓別町中小企業振興資金融資事業

決算額 20,000千円（20,000千円）

（融資枠 60,000千円）

町内中小企業の育成振興、経営の合理化を促進するため、金融機関に運用資金を預け入れ、中小企業者に対し有利な融資を行っています。融資額は一企業に対し、運転資金、設備資金は7,000千円以内、木材工業関係は30,000千円以内で、設備資金の特例として金融機関からの貸付利息の一部を補助します。

〈観光費〉

（担当：産業課商工労働・観光まちづくりグループ）

ピンネシリ温泉運営事業 決算額 30,318千円（76,995千円）

※（ ）のうち、46,300千円は令和7年度への繰越明許費です。

ピンネシリ温泉（ホテル「望岳荘」）の管理運営に係る費用です。

○中頓別町ピンネシリ温泉の管理運営に係る指定管理料 18,660千円

- ・管理施設－温泉（入浴）施設、宿泊施設
- ・業務の範囲－施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務
- ・指定期間－令和6年4月1日～令和10年3月31日 4年間

○導水管維持管理委託料	4, 2 7 9 千円
○水質検査手数料等	1 4 7 千円
○土地賃借料、分湯料（国有林関係）	3 6 千円
○機械設備等点検等委託料	1, 1 3 7 千円
○機械設備修繕料	1, 0 4 1 千円
○ピンネシリ温泉改修工事（実施設計関連）	5, 0 1 6 千円

ピンネシリふれあい公園管理事業 決算額 1, 7 4 3 千円（1, 7 4 4 千円）

ピンネシリ温泉に隣接する公園の維持管理や環境美化に関する業務の委託のほか、老朽化した遊具の撤去を行いました。

○管理委託料	2 9 5 千円
○遊具撤去工事	1, 3 7 5 千円

観光イベント振興事業 決算額 1, 8 3 7 千円（1, 8 8 2 千円）

北緯45度夏まつり及び北緯45度しばれまつりに対しての助成や、砂金祭りをを行うための消耗品の購入、砂金掘体験場の仮設トイレ設置などを行いました。

○北緯45度夏まつり負担金	8 0 0 千円
○北緯45度しばれまつり負担金	8 5 0 千円
○仮設トイレ賃借料	1 2 7 千円
○砂金祭り需用費	5 5 千円

観光協会補助事業 決算額 5 5 0 千円（5 5 0 千円）

観光宣伝、観光イベント、観光客の誘致等幅広い活動を進める観光協会の事業に対し助成し、町の観光産業の振興に努めました。

○観光協会運営補助金	5 5 0 千円
------------	----------

観光振興事業 決算額 4 3 0 千円（6 8 1 千円）

関係団体との会議出席のほか、観光施設の維持修繕や観光事業の推進に努めました。

○旅費	1 2 4 千円
○燃料、消耗品費	1 2 5 千円
○大畑山展望台公園維持管理業務委託料	1 6 8 千円

中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園管理運営事業

決算額 4, 9 1 5 千円（4, 9 1 5 千円）

中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園の施設管理運営費です。

○中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園の管理運営に係る指定管理料	4, 9 1 5 千円
・指定期間—令和6年4月1日～令和10年3月31日 4年間	

中頓別町山村交流施設管理運営事業

決算額 1 6, 6 6 8 千円（1 6, 7 6 3 千円）

中頓別町山村交流施設（ピンネシリビレッジファームパーク）の施設管理運営費です。

○中頓別町山村交流施設の管理運営に係る指定管理料	1 3, 5 5 0 千円
・人件費	

- ・管理施設－ピンネシリビレッジファームパーク〔交流プラザ（道の駅「ピンネシリ」）、オートキャンプ場、コテージ〕、砂金掘体験場
- ・業務の範囲－施設の管理に関する業務、施設の運営に関する業務、施設の経営管理に関する業務
- ・指定期間－令和6年4月1日～令和10年3月31日 4年間

○修繕料（北電柱電線引込移設工事、男子トイレ修繕他） 2, 332千円

○コテージエアコン設置工事 785千円

地域おこし協力隊事業 決算額 4, 255千円（5, 205千円）

地域おこし協力隊員の募集や活動に必要な研修等の支援を国の推進要綱に基づき、特別交付税を活用して実施しました。

また、着任した協力隊員が地域での活動に十分力を発揮できるように適宜開催される協力隊員向けの各種研修会への参加を推奨しております。

・協力隊募集業務委託料 1, 872千円

・協力隊インターン活動費 560千円

・協力隊起業支援補助金 1, 700千円

なかとんべつ観光まちづくりビューロー運営事業

決算額 16, 659千円（16, 741千円）

敏音知地域を中心とする山村交流施設等の観光資源の活用や情報発信を通じて、地域の活性化、観光の振興に取り組む（一社）なかとんべつ観光まちづくりビューローの運営費を助成しています。

○（一社）なかとんべつ観光まちづくりビューロー運営費補助 12, 146千円

○地域おこし協力隊員雇用負担金 4, 512千円

移住定住促進事業

決算額 1, 203千円（1, 303千円）

都市部での移住フェアの開催や短期移住体験住宅の管理運営を実施しています。また、移住定住を推進する団体に加入し、移住に関連する情報の共有や発信を行っています。

○移住フェア開催費用（旅費、印刷製本費、燃料費等） 748千円

○おためし暮らし住宅維持管理費（電気料、修繕料、通信費等） 324千円

○移住コンシェルジュ携帯電話料金 29千円

○北海道移住交流促進協議会会費 50千円

○ふるさと回帰支援センター会費 50千円

土木費

〈土木総務費〉

(担当：建設課建設グループ)

土木総務事業

決算額 450千円(461千円)

各種会議への旅費及び道路、河川等の協会負担金、関係図書の購入を行いました。

〈道路維持費〉

(担当：建設課建設グループ)

除排雪事業

決算額 154,577千円(156,556千円)

冬期間の快適な生活環境づくりのため、町道や公設駐車場等の除雪・排雪業務を行いました。

- ・除雪トラック購入(1台) 56,515千円
- ・除排雪委託料 87,428千円
- ・車両修繕料 6,037千円

上駒駐車場トイレ維持管理事業

決算額 414千円(425千円)

上駒駐車場のトイレ清掃を委託し、いつも清潔な状態を保ちました。

道路維持補修事業

決算額 61,669千円(63,122千円)

町道の草刈りや砂利均し等の維持作業を業務委託しました。舗装補修(パッチ)や道路を大雨等から守るために側溝整備工事をしました。

- ・道路維持作業委託料 16,500千円
- ・舗装道路・区画線補修費 2,351千円
- ・中頓別弥生線・兵安川向線側溝整備工事 19,569千円
- ・道路照明施設点検委託料 15,807千円

道路照明灯電気料事業

決算額 1,122千円(1,146千円)

歩行者及び車両通行の夜間の安全性確保のために設置している道路照明灯123基分(町道21路線)の電気料を計上しています。

道路台帳整備事業

決算額 660千円(682千円)

道路台帳は町道管理に必要な道路の現況や用地を確認することと道路の維持管理に要する経費として交付税措置がされるため、図面及び調書を整備するものです。毎年、道路工事等で変更が生じた分を修正します。

〈橋梁維持費〉

(担当：建設課建設グループ)

橋梁補修事業

決算額 99千円(100千円)

橋梁維持のため支障木の伐採を行いました。

- ・橋梁周辺支障木伐採 99千円

〈道路新設改良費〉

(担当：建設課建設グループ)

普通建設事業（単独） 決算額 826千円（1,407千円）

道路建設事業を行うための人件費及び積算等に係る経費を支出しました。

秋田原野線交付金事業 決算額 79,790千円(79,889千円)

小頓別かえで団地付近から秋田地区に向かう町道で、道路改良工事１８０ｍ及び道路改良工事実施設計業務５８０ｍを実施しました。

中頓別弥生線交付金事業 決算額 192,470千円(196,744千円)

※うち、173,088千円は令和5年度からの繰越明許費です。

※（ ）のうち、4, 274千円は、令和7年度への繰越明許費です。

頓別川河川改修に伴い弥生地区一已内橋の架換工事で、令和6年度は橋脚工事・橋桁製作分の負担金を北海道へ支払いました。

道路長寿命化事業 決算額 36,377千円(36,377千円)

町道長寿命化のため、町道旭台宮下線舗装補修工事を実施しました。

橋梁長寿命化事業 決算額 20,185千円(20,218千円)

町道に架かる橋梁長寿命化のため、を実施しました。

2 条仲通線整備事業 決算額 10,670千円(10,670千円)

町道2条仲通線整備事業に伴い舗装補修工事71.6mを実施しました。

〈河川総務費〉

(担当：建設課建設グループ)

河川維持事業 決算額 7,201千円(7,212千円)

普通河川の河床に堆積した砂利撤去、河川内の支障木撤去などの維持工事を実施しました。

・普通河川浚渫工事 6, 138千円

桶門桶管管理委託事業 決算額 786千円(810千円)

河川の洪水・氾濫等によって災害が発生しないように宗谷総合振興局稚内建設管理部が管理している２級河川の頓別川、兵知安川にある３０ヶ所の樋門・樋管の操作や管理を委託しました。

〈公共下水道費〉

(担当：政策経営課政策経営グループ)

下水道事業運営補助事業費 決算額 101,296千円(110,800千円)

中頓別町下水道事業に対する補助金を支出しました。

〈旭台公園費〉

(担当：建設課建設グループ)

旭台公園維持管理事業

決算額 208千円(214千円)

旭台公園の管理を委託し環境美化の向上を図りました。

・公園管理委託料	186千円
・光熱水費	21千円

〈住宅管理費〉

(担当：建設課建設グループ)

公営住宅維持管理事業

決算額 46,243千円(46,759千円)

※うち、42千円は令和5年度からの繰越明許費です。

住宅の修繕・維持管理に係る費用です。

・施設修繕料(あかね団地屋根葺替え・電気温水器取替え等)	6,575千円
・ひまわり団地外壁改修工事(1棟)	15,468千円
・あかね団地公営住宅解体工事(2棟)	11,264千円

〈住宅建設費〉

(担当：建設課建設グループ)

住宅建設促進事業

決算額 1,409千円(1,409千円)

町民の持ち家住宅を促進するため、中頓別町住宅建設促進条例に基づき、町内に住宅を新築又は増改築する方及び町内に賃貸住宅を建設する方に対し費用の一部を助成することにより、良質な賃貸住宅の供給の促進と町民の定住促進を図りました。

・営繕工事積算	システム利用に係る経費	449千円
・住宅建設促進助成金		960千円

危険廃屋解体撤去助成事業

決算額 2,150千円(3,000千円)

町内に存する老朽化し危険な状態にある廃屋化した建築物等の解体撤去をする方に対し経費の一部を助成し、景観や住環境向上、町民の安心安全を図っています。

・危険廃屋解体撤去補助金	3件	2,150千円
--------------	----	---------

消防費

〈消防費〉

(担当：南宗谷消防組合中頓別支署)

消防事業

決算額 11,297千円(11,664千円)

南宗谷消防組合の議会費、総務費、消防本部費等の負担金を支出しました。

消防署管理経費 **決算額 7,408千円(7,498千円)**

消防庁舎、通信設備、工事請負費、庁用備品等の維持管理に要した費用です。

- ・ 需用費（消耗品、光熱水費、修繕費） 1,738千円
- ・ 役務費（通信運搬費、火災保険料） 729千円
- ・ 委託料（自家用電気工作物、庁舎設備機器、自動ドア委託業務） 303千円
- ・ 使用料及び賃借料（LEDリース料、NHK放送受信料、コピー機使用・リース料） 443千円
- ・ 工事請負費（消防庁舎事務所エアコン設置） 4,158千円
- ・ 備品（無停電電源装置） 37千円

消防庶務業務 **決算額 1,118千円(1,202千円)**

予算・経理に関する事項、職員の被服装備品の整備、安全衛生管理、労務管理等のほか、一般的な庶務事務に関わる事務処理に要した費用です。

- ・ 需用費（消耗品、職員制服費、印刷製本費） 1,104千円
- ・ 役務費（職員健康診断文書料） 14千円

警防業務事業 **決算額 5,826千円(6,189千円)**

町民の人命救助を最優先に、火災・救助・災害の警戒及び防御を目的として、各種訓練、研修の実施、緊急時における適切な消防車と資機材の維持管理、消防水利の維持管理に要した費用です。

- ・ 需用費（消耗品、燃料費、車検修繕費） 2,608千円
- ・ 役務費（空気ボンベ耐圧検査、車検代行料、無線局再免許申請手数料、自動車保険料） 423千円
- ・ 原材料費（消火栓・防火水槽） 25千円
- ・ 備品（消火用ホース、車両バッテリー、ロープレスキュー資機材、空気呼吸器一式、空気ボンベ、救助用資機材予備バッテリー） 2,533千円
- ・ 公課費（重量税） 237千円

予防業務事業 **決算額 133千円(159千円)**

啓蒙旗設置、啓蒙看板作成、火災予防運動広報、年末警戒、町内回覧防火啓蒙等の火災予防思想の普及啓発活動に要した費用です。

- ・ 需用費（消耗品） 116千円
- ・ 役務費（防火防災訓練補償保険料） 5千円
- ・ 原材料費（火災予防運動用） 12千円

各種研修事業 **決算額 922千円(925千円)**

消防学校以外の短期の研修や各種資格取得のための研修、専門会議等に要した費用です。

- ・ 旅費 353千円
- ・ 役務費（予防技術資格者検定料） 6千円
- ・ 使用料及び賃借料（駐車場・高速道路使用料） 28千円
- ・ 負担金 535千円

救急業務事業

決算額 1,811千円(1,936千円)

救急出動、救急活動を円滑に実施するため、救急業務に対する検証、救急救命士の病院実習、救急車・救急資機材の維持管理、また、救命率向上に必要な応急手当普及活動等、救急業務全般に要した費用です。

・旅費（救命士病院実習、救急町外搬送）	450千円
・需用費（消耗品、修繕費）	445千円
・役務費（通信運搬費、酸素ボンベ耐圧検査、車検代行料、各種救急資機材保守点検料、自動車保険料）	546千円
・委託料（各種予防接種料、旭川赤十字病院検証委託料）	268千円
・使用料及び賃借料（駐車場使用料）	3千円
・負担金（救急救命士病院実習負担金）	15千円
・公課費（重量税）	84千円

消防学校派遣事業

決算額 294千円(294千円)

消防職員として必要な専門知識及び技術の習得、規律の保持等、効率的に職務を遂行できる人材育成を目的として消防学校へ派遣する事業です。

令和6年度は北海道消防学校の専科教育救急科及び救助科への派遣経費に要した費用です。

・旅費（専科教育救急科1名、専科教育救助科1名）	198千円
・負担金（北海道消防学校）	96千円

給与関連事業

決算額 86,449千円(87,489千円)

消防職員の給与支払事務等に関する業務で、給料、職員手当等、共済費、負担金等人件費に要した費用です。

・職員給与	42,562千円
・職員手当	29,984千円
・共済費	13,871千円
・負担金（福祉協会負担金）	32千円

消防団員管理事業

決算額 4,640千円(5,172千円)

消防団活動を円滑に進めていくため、団員の被服装備品の整備、報酬、旅費、災害補償関係等に要した費用です。

・報酬（団員年間報酬、各種出動報酬）	3,189千円
・消防団員福祉共済掛金	64千円
・旅費	39千円
・消防団員マイカー保険料	10千円
・負担金（消防団員等公務災害補償負担金）	1,338千円

消防分団管理事業

決算額 1,720千円(1,965千円)

消防団管轄の消防車や活動資機材の維持管理、消防団詰所の維持及び備品の維持管理に要した費用です。

・需用費（消耗品、燃料費、光熱水費、車検修繕費）	1,129千円
--------------------------	---------

- ・ 役務費（通信運搬費、車検代行料、敏音知会館合併浄化槽検査及び汚泥抜き取り料、自動車保険料、小頓別消防詰所火災保険料） 2 1 4 千円
- ・ 委託料（敏音知会館合併浄化槽保守管理委託料及び消防施設管理委託料、小頓別消防詰所管理委託料） 1 6 4 千円
- ・ 備品（車両・小型ポンプバッテリー） 1 0 0 千円
- ・ 負担金（宗谷管内陸地市町村交流研修会） 5 0 千円
- ・ 公課費（重量税） 6 3 千円

消防設備整備事業 決算額 3, 7 0 6 千円（3, 7 0 6 千円）

町内の消火栓、防火水槽新設、維持管理に必要な費用です。令和6年度は機能低下が見られる消火栓3基の取替を実施しました。

- ・ 工事請負費（消火栓取替工事）

教育費

〈教育委員会費〉

（担当：教育委員会教育グループ）

教育委員会事業 決算額 7 0 2 千円（7 2 4 千円）

- ・ 教育委員会開催状況：1 3 回
- ・ 学校訪問：学校行事及び授業参観、公開授業参観等の訪問を行いました。
- ・ 教育委員研修：北海道市町村教育委員研修会、宗谷管内教育委員研修会に参加しました。
- ・ 教育委員報酬：教育委員の報酬を支出しました。

〈事務局費〉

（担当：教育委員会教育グループ・教育委員会新しい学校づくり推進室）

外国青年招致事業（英語指導助手） 決算額 4, 5 5 8 千円（4, 6 2 5 千円）

こども園、小中学校、英会話教室等、語学教育の充実を図るとともに、地域国際交流の推進に努めました。令和3年度より1名を中学校に常駐させています。

中学校部活動振興事業 決算額 2 2 3 千円（2 2 3 千円）

生徒の身体及びスポーツ技術の向上、管内中学校との交流と親睦を図ることを目的としています。管内及び全道大会の参加やユニフォーム費用の補助を行い、保護者負担を軽減しました。

- ・ バスケットボール部ユニフォーム代 9 5 千円

教育委員会事務局事業 決算額 9 3, 7 7 3 千円（9 7, 6 5 7 千円）

教育委員会の補助機関として教育委員会事務局が設置され、教育委員会の職務権限に属する事務を具体的に処理するため事務局職員の給料等の支払いのほか、児童生徒・教職員の健康診断や一般事務に要する経費に充てました。

教育研究指定校委託事業 **決算額 100千円(100千円)**

特色ある学校経営の活動について研究し、教育効果を高めることを目的として各学校に委託しました。その結果を集約し研究紀要として報告を受けました。

教職員健康診断事業(人間ドック) **決算額 84千円(84千円)**

教職員の健康の保持増進及び病気の早期発見等に努めました。

公用車両維持管理事業 **決算額 26,030千円(26,648千円)**

通学用スクールバスの運行、校外学習、各種スポーツ大会参加時の運行及び事務局車両の維持管理に充てました。

中頓別町教育研究会運営事業 **決算額 262千円(262千円)**

中頓別町学校教育の重点及び町内各学校の学校教育目標・経営方針に則り、教育課程の改善、充実を図るための経費です。サークル活動や研究大会等の活動を実施しました。

特別支援教育連携協議会運営事業 **決算額 140千円(140千円)**

発達障害を含めた障害のある子どものよりよい生活を築くため、総合的な支援体制のあり方や障がいに対する理解を町民や関係者で共有していくために支援しました。

英語力育成事業 **決算額 12,355千円(12,562千円)**

夏休み期間中、6泊8日の日程で中学生9名と高校生1名の生徒10名が参加してハワイ英語研修を実施しました。

12,293千円

英語検定の検定料の補助金を支出しました。

・英語検定：小学生 1名、中学生 14名 61千円

学習習慣育成事業 **決算額 173千円(190千円)**

漢字検定の検定料の補助金を支出しました。

・漢字検定：小学生 29名、中学生 26名

中頓別学園整備事業 **決算額 292,203千円(339,981千円)**

※うち、159,500千円は、令和5年度からの繰越明許費です。

※()のうち、41,000千円は、令和7年度への繰越明許費です。

人生100年の学びの拠点として学校機能だけではなく、将来を見越して長く町民が使える施設、大人も子どもも生涯を通じて学び交流することができる施設づくりに向けて様々な取り組みを進めてきました。

※主な支出内容

・実施設計委託料(令和5年度からの繰越)	159,500千円
・用水路改変工事	20,537千円
・仮校舎建設工事	87,681千円
・学校建設工事(令和7年度へ繰越)	10,000千円
・学校建設工事監理業務委託料(令和7年度へ繰越)	28,000千円
・学校教育サポート業務委託料	9,110千円
・学校環境整備アドバイザー業務委託料	2,936千円
・仮校舎詳細設計委託料	7,513千円

〈住宅管理費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

教職員住宅管理事業

決算額 758千円(759千円)

教職員住宅の維持管理に係る経費に充てました。

〈学校管理費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

小学校施設維持管理事業

決算額 23,965千円(25,619千円)

児童が快適・安全に学校生活を送れるように小学校施設を維持管理するための経費に充てました。

- ・備品購入費(ワイヤレスマイク、スポットクーラー、刈払機、シュレッダー)

960千円

中学校施設維持管理事業

決算額 15,467千円(17,008千円)

生徒が快適・安全に学校生活を送れるように中学校施設を維持管理するための経費に充てました。

- ・備品購入費(スポットクーラー、扇風機、スポットライト、校務用PC)

1,053千円

〈教育振興費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

就学奨励事業

決算額 247千円(364千円)

経済的な理由によって就学困難と認められる児童又は生徒の保護者に対して必要な援助を行いました。

- ・新規：1名、継続：8名

小学校教育振興事業

決算額 4,799千円(5,399千円)

児童に対する教育活動において必要となる教育資材等を整備し、教育指導の充実を図るために必要な経費に充てました。

- ・図書購入費

153千円

- ・備品購入費(パーテーション)

215千円

就学奨励事業

決算額 451千円(578千円)

経済的な理由によって就学困難と認められる児童又は生徒の保護者に対して必要な援助を行いました。

- ・新規：1名、継続：4名

中学校教育振興事業

決算額 945千円(1,421千円)

生徒に対する教育活動において必要となる教育資材等を整備し、教育指導の充実を図るための経費に充てました。

- ・図書購入費

126千円

- ・備品購入費（電動ミシン、ホワイトボード） 90千円

〈社会教育総務費〉

（担当：教育委員会教育グループ）

社会教育推進事業 決算額 602千円（822千円）

本町の社会教育事業のあり方について協議検討を行い、社会教育事業や生涯学習・まちづくり活動に積極的に参加できる体制を支援しました。

少年教育推進事業 決算額 6,091千円（7,741千円）

地域の資源や文化を活かす子どもの体験活動や学習機会を提供し、青少年の健全育成を図りました。

- ・中頓別町PTA連合会運営事業補助 250千円
- ・管内PTA連合会研究大会 100千円
- ・生徒指導連絡協議会運営補助 150千円
- ・学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業 2,966千円
- ・自然体験活動事業 2,724千円

青年教育推進事業 決算額 90千円（110千円）

成人式対象者14名に対するオリジナル図書の購入等、成人式運営に要する経費に充てました。

高齢者教室推進事業 決算額 58千円（84千円）

趣味や娯楽等のサークル活動を実施しました。また、登別市にリフレッシュ研修旅行を実施しました。

- ・パソコン教室

芸術文化推進事業 決算額 572千円（605千円）

個人や団体サークル、町内各学校における日頃の文化活動や学習成果の発表を通じ、お互いの交流を図りました。

- ・町民文化祭実行委員会運営補助金 120千円

文化財保護事業 決算額 8千円（8千円）

町の区域内に所在する文化財の保全及び活用に係る必要な措置を講じるため、文化財保護委員会を開催します。

夢と希望を！感動体験事業 決算額 1,501千円（1,608千円）

次代を担う子ども達の健やかな成長と教育の向上に資することを目的として、未来を担うこどもの健全育成と教育の基金を財源に、各種体験活動に補助金を支出しました。

- ・プロスポーツ観戦事業（プロ野球、プロバスケ） 939千円
- ・中学校本物感動体験修学旅行事業 348千円
- ・中学校宿泊学習事業 8千円
- ・中学校本物感動体験自然体験事業 63千円
- ・スキーの魅力体験事業 143千円

〈町民センター費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

町民センター運営維持管理事業 決算額 9,856千円(10,163千円)

地域住民のコミュニティ活動、社会教育、生涯学習の場の拠点として利活用を図るため、施設の維持管理に要する経費に充てました。

〈社会教育施設費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

郷土資料館及び青少年柔剣道場運営事業

決算額 18,390千円(21,812千円)

郷土資料館、図書室、柔剣道場の光熱水費等の維持管理に要する経費を計上しています。

また、子どもからお年寄りまで利用しやすい生涯学習の拠点としての図書室の充実を図るため、計画的に蔵書を整備しました。

読書活動推進事業

決算額 11千円(64千円)

○なかとんべつ子ども読書プラン事業

令和3年3月に中頓別町子どもの読書活動推進計画〔第3次計画〕を策定しました。生涯における読書の習慣化に向けた取り組みとともに、誰もが利用しやすい施設を目指しています。

赤ちゃんから絵本に親しみ、また、町図書室や認定こども園、学校図書室との連携を図りながら、子どもを中心とした読書活動の支援をしました。

○ブックスタート事業

赤ちゃんと保護者がゆっくり向き合い、心ふれあうひとときを持つきっかけをつくり、絵本を開く楽しい体験と一っしょに絵本等が入ったブックスタート・パックを手渡します。町で地域に生まれたすべての赤ちゃんと保護者（対象者10名）に乳幼児検診の時に「いきいきふるさと推進事業」と同時に実施しました。

○絵本の読み聞かせ事業

読書活動の推進を地域全体での取り組みにするため、絵本の読み聞かせボランティアの活動について支援をしました。

〈多目的集会施設費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

多目的集会施設維持管理事業

決算額 807千円(1,075千円)

小頓別地区の住民活動の場として活用している多目的集会施設の光熱水費等、維持管理に要する経費に充てました。

〈創作活動施設費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

創作活動施設運営管理事業

決算額 311千円(666千円)

中頓別町らしい個性豊かな芸術文化の発展のため、地域や職場、団体やサークルのネットワークづくり、創作活動の拠点として活用している創作活動施設の維持管理に要する経費に充てました。

〈そうや自然学校施設費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

そうや自然学校事業

決算額 3,549千円(4,440千円)

そうや自然学校を拠点として、子どもたちへの自然体験活動を提供しました。

- | | |
|------------------------|---------|
| ・ 消耗品費、光熱水費、公用車維持管理費 等 | 2,380千円 |
| ・ 施設清掃・外構管理、除雪委託料 | 1,169千円 |

〈保健体育総務費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

社会体育推進事業

決算額 1,348千円(2,089千円)

○社会体育推進事業

各種研修会への参加や町内スポーツ大会・教室等のあり方についての協議や少年団活動支援に係る経費及びスポーツ巡回車の維持管理等に要する経費に充てました。

- | | |
|-------------------|-------|
| ・ 各スポーツ少年団指導者への支援 | 175千円 |
| ・ スポーツ少年団本部運営補助 | 125千円 |

○スポーツ推進委員会運営事業

スポーツ団体サークルが自主的・自発的にスポーツ活動を継続的に活動するために、研修や会議等の機会提供を図っています。

○町民各種スポーツ大会等運営事業

- | | |
|-------------------|------|
| ・ 町長杯争奪町民パークゴルフ大会 | 12千円 |
| ・ 町民ソフトボール大会 | 3千円 |
| ・ 町民駅伝大会 | 94千円 |
| ・ 夏休みラジオ体操会 | 20千円 |

○冬季スポーツ教室運営事業

- | | |
|------------------|-------|
| ・ 町民スノーフェスティバル | 165千円 |
| ・ 寿スキー場ジュニアスキー大会 | 5千円 |
| ・ 冬季スポーツ教室運営事業 | 114千円 |
| ・ ジュニア・キッズスキー教室 | 23千円 |

社会体育施設運営事業 **決算額 1,429千円(1,767千円)**

学校クラブ活動や町内で活動しているスポーツ団体、サークル・愛好団体の活動の場所として利用されている町民体育館の維持管理に要する経費に充てました。

〈山村プール費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

山村プール運営事業 **決算額 1,319千円(1,534千円)**

学校授業や一般町民の健康体力づくり、児童生徒の健全育成のために開設している山村水泳プールの維持管理に要する経費に充てました。

〈寿野外レクリエーション施設費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

寿野外レクリエーション施設事業

決算額 42,434千円(42,533千円)

社会教育施設等(寿スキー場、野外レクリエーション施設、寿公園)の管理運営に要する経費に充てました。また、寿公園のトイレ改修、遊具の入れ替えを行うため設計業務を委託しました。

- | | |
|-------------------|----------|
| ・社会教育施設等指定管理料 | 33,302千円 |
| ・寿公園更新工事実施設計業務委託料 | 8,041千円 |

〈学校給食費〉

(担当：教育委員会教育グループ)

学校給食事業 **決算額 23,011千円(23,615千円)**

子ども達に望ましい食習慣や食に関する自己管理能力を身につけさせるように食育の推進を図りました。各学校における給食回数は小学校で198日、中学校で196日、給食センターの稼働日数は200日となりました。これに伴い保護者負担となる学校給食費補助金を家計への配慮及び更なる子育て環境整備のため全額補助としました。引き続き食育を通じて児童生徒の健全育成を推進するように努めます。

【 特別会計 】

自動車学校事業特別会計

(担当：自動車学校)

自動車学校事業 **決算額 57,937千円(59,736千円)**

一般会計繰入金 27,440千円(29,917千円)

自動車免許取得のための教習、高齢者の免許更新時講習及び取得者教育等の業務を実施し、

地域における交通安全教育センターとしての積極的な活動の推進に努めました。教習生や受講者に安心して利用いただくため、老朽化した施設の修繕や備品の購入等、維持運営に必要な経費を支出しました。

・人件費 報酬, 給料, 職員手当, 共済費	36,541千円
・需用費 施設修繕費（コース・学校屋内給水配管・屋外止水工事）	1,977千円
・備品購入費 ノートパソコン、消火器	161千円
・使用料及び賃借料 除雪用ショベルリース料	1,773千円
除雪用ロータリリース料（故障の為）	1,282千円
シミュレータリース料（機種入替9か月分）	639千円

国民健康保険事業特別会計

（担当：保健福祉課福祉グループ）

国民健康保険事業 決算額 173,476千円（243,851千円）
一般会計繰入金 9,139千円（12,635千円）

国民健康保険は日本に住む誰もが安心して医療を受けることができる「国民皆保険制度」を維持しており、病気やケガをしたときに安心して病院を受診することができるように医療費の一部を国と国保加入者のみなさんの保険税で負担し合う制度です。

・総務費	6,174千円
・医療給付事業	107,467千円
疾病時の入院や入院外（外来受診）の医療費を支出します。	
・国民健康保険事業費納付金	52,482千円
・保健事業費	4,566千円
特定健診を実施し、早期発見と予防事業に係る経費を支出します。	
・諸支出金	2,787千円

介護保険事業特別会計

（担当：保健福祉課福祉グループ）

介護保険事業（保険事業勘定）

決算額 212,175千円（263,148千円）
一般会計繰入金 30,970千円（38,960千円）

介護保険制度は高齢者が住みなれた地域で安心して暮らすことができるように、また、要支援状態とならないように様々な地域支援事業や、要支援状態、要介護状態となった高齢者への介護保険サービスを推進しています。

・ 総務費	5, 8 2 5 千円
・ 保険給付費	1 9 5, 0 9 3 千円
介護サービス等諸費	1 6 9, 9 1 8 千円
介護予防サービス等諸費	5, 7 4 6 千円
その他諸費	1 2 9 千円
高額介護サービス等費	4, 7 0 5 千円
高額医療合算介護サービス等費	1, 1 5 7 千円
特定入所者介護サービス費	1 3, 4 3 8 千円
・ 地域支援事業費	7, 5 1 4 千円
・ 基金積立費	1 0 千円
・ 諸支出金等	3, 7 3 3 千円

介護保険事業（介護サービス事業勘定）

決算額 5 8, 5 4 0 千円（5 8, 7 2 9 千円）

一般会計繰入金 3 7, 7 0 0 千円（3 8, 2 8 4 千円）

令和5年度より在宅事業のデイサービスセンター及び訪問介護事業所は、町直営で事業を実施してきています。在宅事業は家族の介護負担の軽減や利用者のニーズに対応し、高齢者の身体機能低下の防止や認知機能低下の予防、機能訓練などを提供し、在宅生活の継続を支えるために事業を推進してきました。

高齢者が自立した在宅生活が送れるように高齢者のニーズを的確に捉えたサービスができる体制を構築しながら、住み慣れた自宅で1日でも長く生活ができるように取り組んでいます。

・ 一般管理費	5 8, 5 3 9 千円
報酬	4, 3 2 2 千円
給料	2 2, 3 1 7 千円
職員手当等	1 1, 4 8 5 千円
共済費	6, 9 9 7 千円
旅費	5 2 千円
需用費	9, 2 0 2 千円
役務費	7 4 7 千円
委託料	2 3 8 千円
使用料及び賃借料	1, 1 0 3 千円
備品購入費	1 5 6 千円
負担金補助及び交付金	1, 8 9 4 千円
公課費	2 6 千円

(担当：特別養護老人ホーム長寿園総務グループ)

介護保険事業（施設介護サービス事業勘定）

決算額 204,575千円（206,491千円）

一般会計繰入金 56,850千円（62,372千円）

令和6年度から、新たに施設介護サービス事業勘定予算を計上しています。施設介護サービス事業は特別養護老人ホームと短期入所者施設（ショートステイ）で、家族の介護負担の軽減や利用者のニーズに対応してきました。

利用者が安全・安心して生活できるように取り組んでいきます。

・一般管理費	204,575千円
報酬	4,899千円
給料	72,724千円
職員手当等	40,291千円
共済費	19,635千円
報償費	284千円
旅費	479千円
需用費	47,515千円
役務費	1,735千円
委託料	10,008千円
使用料及び賃借料	1,910千円
備品購入費	445千円
負担金補助及び交付金	4,637千円
補償補填及び賠償金	13千円

後期高齢者医療事業特別会計

(担当：保健福祉課福祉グループ)

後期高齢者医療事業 決算額 33,949千円（35,524千円）

一般会計繰入金 13,364千円（13,373千円）

後期高齢者医療事業は老人保健事業に替わる制度で75歳以上の方と65歳から74歳で一定の障害のある方が加入する医療保険制度です。

全道すべての市町村で構成する後期高齢者医療制度広域連合が設立し事業の運営にあたります。

市町村の役割は、保険料の徴収、各種申請や届出の受付、被保険者証の引渡し等の業務を行うことになり、事業運営のための経費を計上するものです。

・総務費	1,683千円
・後期高齢者医療広域連合納付金	31,177千円

・諸支出金

89千円

水道事業会計

(担当：建設課上下水道グループ)

建設改廃事業 **決算額 199,634千円(199,638千円)**

※うち、99,273千円は、令和5年度からの繰越明許費です。

水道は清浄な水道水を供給する生活環境施設として重要な役割を担っています。

令和6年度につきましては、前年度に引き続き浄水場設備更新工事を実施し、竣工しました。水道施設更新工事として導水管及び沈砂池付帯設備の更新及び北海道事業である頓別川広域河川改修工事に係る一已内橋の架け替えに伴い、橋梁添架のための水道管受台制作に係る負担金の支出を行いました。その他、道路改良工事等に係る水道管の布設替工事、検定満了に伴う量水器取替工事並びに水道施設等の維持管理費を重点に経費を計上し、豊富で清浄な水道水を造り、経営の健全化に努めました。

・導水管布設替及び沈砂池付帯設備更新工事	67,694千円
・量水器取替工事(127台)	1,549千円
・道道中頓別停車場線配水管布設替工事	605千円
・中頓別浄水場機械設備更新工事	30,328千円
・中頓別浄水場機械・電気設備更新工事(繰越)	99,273千円
・頓別川広域河川改修工事附帯上水道管移設工事に伴う負担金	185千円

下水道事業会計

(担当：建設課上下水道グループ)

建設改廃事業 **決算額 97,141千円(97,141千円)**

下水道事業は公共水域の水質保全と快適な生活環境づくりとの重要な役割を担っています。令和6年度は中頓別町下水道ストックマネジメント計画に基づいた下水道施設の設備更新工事及び工事に伴う施工監理委託の実施、固定資産の購入として老朽化した水質試験用定温乾燥器の購入を行いました。併せて下水道施設の維持管理費を重点に経費を計上し、よりよい環境づくりとより効率的な施設管理に努めました。

・下水道管理センター電気・機械設備更新工事	93,247千円
・下水道管理センター設備重点施工監理委託	3,630千円
・下水道管理センター水質試験用定温乾燥器購入	264千円

国民健康保険病院事業会計

(担当：国保病院)

医療機械器具等整備事業 決算額 3,181千円(3,197千円)

住民の皆様により良い医療サービスを提供するため、老朽化・故障した医療機器等を更新及び新規導入しました。

- | | |
|------------|------------|
| ・血液分析システム | ・低圧持続吸引機 |
| ・電動ベッド | ・ランドリーカート |
| ・衝撃吸収マット | ・電子血圧計 |
| ・吸引ポット | ・フレンチェルメガネ |
| ・LED照明灯 | ・スチーム加湿器 |
| ・パルスオキシメータ | ・エアコン |
| ・ノートPC | |

電話交換設備更新事業 決算額 10,978千円(10,978千円)

老朽化に伴う不具合により、電話に支障が出てきたことから電話交換設備を更新いたしました。